

QUALITIA

Active!gateSS

連携設定解除マニュアル

目次

はじめに.....	1
1. Google Workspaceとの連携設定解除	2
1.1. GWの全てのユーザがActive! gate SSを利用している場合.....	2
1.1.1. GW画面でActive! gate SS用の設定を削除する	2
1.1.2. ネットワーク設定を解除する	8
1.1.3. 連携設定解除の確認.....	8
1.2. 正規表現を利用してGWの一部のユーザがActive! gate SSを利用している場合.....	9
1.2.1. GW画面でActive! gate SS用の設定を削除する	9
1.2.2. ネットワーク設定を解除する	15
1.2.3. 連携設定解除の確認.....	15
1.3. GWの特定の組織部門に所属するユーザがActive! gate SSを利用している場合	16
1.3.1. GW画面でActive! gate SS用の設定を削除する	16
1.3.2. ネットワーク設定を解除する	22
1.3.3. 連携設定解除の確認.....	22
2. Office 365とActive! gate SSの連携設定解除	23
2.1. Office 365の全てのユーザがActive! gate SSを利用している場合	23
2.1.1. Office 365画面でActive! gate SS用の設定を削除する	23
2.1.2. ネットワーク設定を解除する	26
2.1.3. 連携設定解除の確認.....	27
2.2. Office 365の特定のドメインに所属するユーザがActive! gate SSを利用している場合	28
2.2.1. Office 365画面でActive! gate SS用の設定を削除する	28
2.2.2. ネットワーク設定を解除する	32
2.2.3. 連携設定解除の確認.....	32
2.3. Office 365の特定の一部のユーザがActive! gate SSを利用している場合.....	33
2.3.1. Office 365画面でActive! gate SS用の設定を削除する	33
2.3.2. ネットワーク設定を解除する	37
2.3.3. 連携設定解除の確認.....	37
3. メールソフトとActive! gate SSとの連携設定の解除.....	38
3.1. Windows 10 メールアプリ	38
3.2. Microsoft Outlook 2019とActive! gate SSの連携設定の解除.....	43
3.3. Mozilla ThunderbirdとActive! gate SSの連携設定の解除.....	47
3.4. Becky! Internet Mail Ver.2とActive! gate SSの連携設定の解除.....	52
3.5. メール（macOS）とActive! gate SSの連携設定の解除	55
3.6. 連携設定解除の確認.....	58

はじめに

このドキュメントは、Active! gate SSの契約解除時に使用する連携設定解除マニュアルです。お使いのメールサービスやメールソフトとActive! gate SSとの連携を解除するための設定方法などについてご説明します。

1. Google Workspaceとの連携設定解除

Active! gate SS用に設定したGoogle Workspace（以下、GWとします）の設定を初期状態に戻す手順を説明します。

1.1. GWの全てのユーザがActive! gate SSを利用している場合

GWの全てのユーザがActive! gate SSを利用している場合の、連携解除の方法です。

1.1.1. GW画面でActive! gate SS用の設定を削除する

手順に従い、Active! gate SSを利用するルート設定を削除します。

ルーティングの設定削除

1. GWの管理者画面にて管理者権限のあるユーザでログインします。

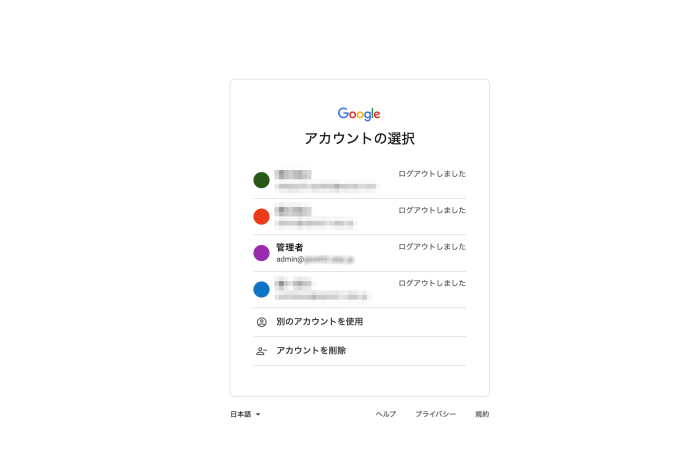


図 1. ログイン画面

2. 「管理コンソール」メニューから「アプリ」を選択します。

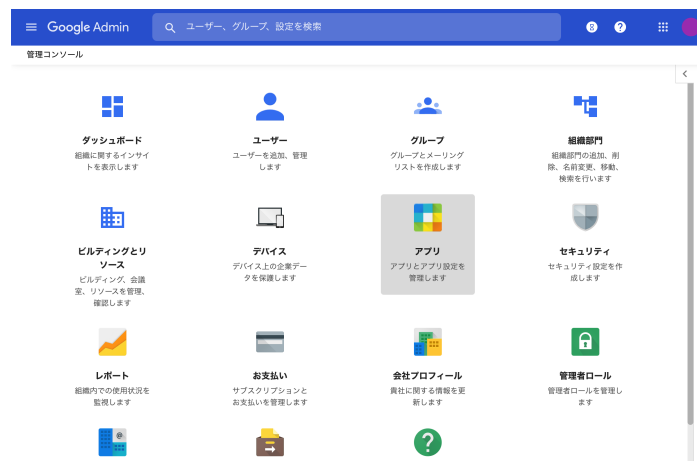


図 2. 管理コンソール画面

3. 「アプリ」メニューから「GW」を選択します。



図 3. アプリ画面

4. 一覧から「Gmail」を選択します。

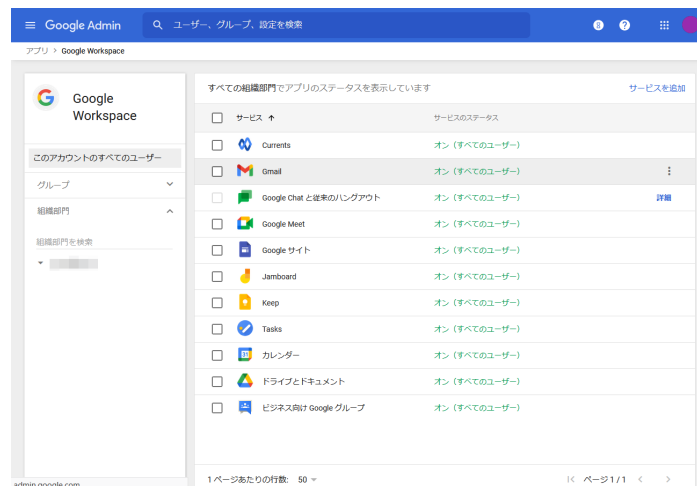


図 4. GW一覽画面

5. 「Gmailの設定」メニューから「ルーティング」を選択します。

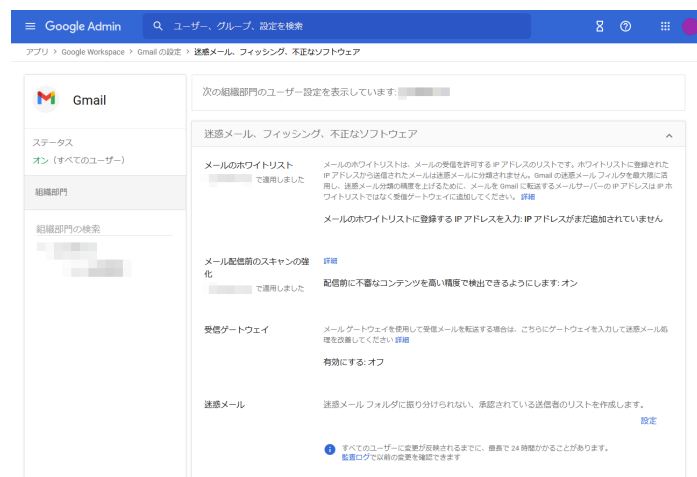


図 5. Gmail の設定画面

6. 「ルーティング」にあるActive! gate SS用に設定した項目の「削除」をクリックします。

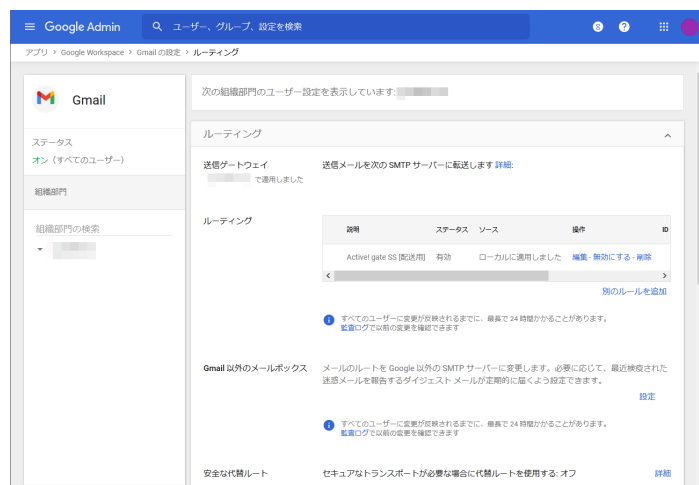


図 6. ルーティング

ホストの設定削除

1. 「Gmailの設定」メニューから「ホスト」を選択します。



図 7. Gmail の設定画面

2. Active! gate SS用に設定したホストの「削除」ボタンをクリックします。



図 8. ホスト

受信ゲートウェイの設定削除

1. 「Gmailの設定」メニューから「迷惑メール、フィッシング、不正なソフトウェア」を選択します。

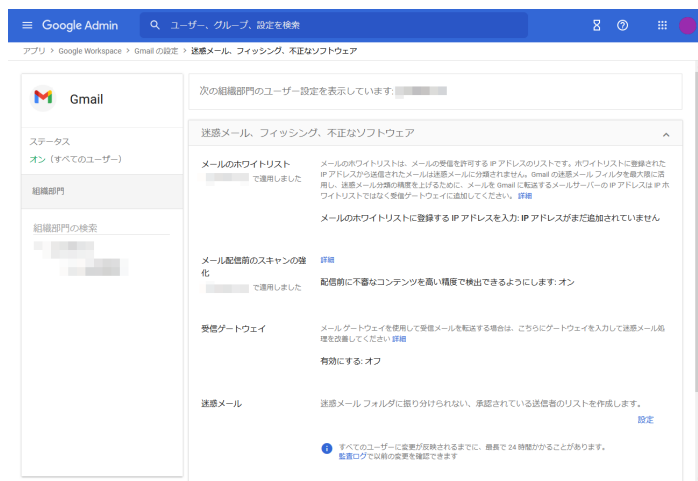


図 9. Gmail の設定画面

2. 「受信ゲートウェイ」が「有効にする：オフ」の場合は、この手順は不要です。

「有効にする：オン」の場合はクリックして編集画面を表示し、設定内容を確認してください。Active! gate SS用のIPアドレス（下記）が設定されている場合は、該当の項目を削除します。

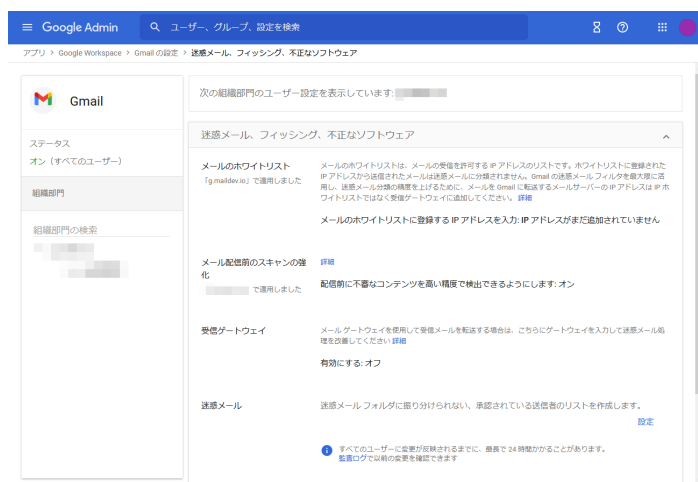


図 10. 受信ゲートウェイ

125.252.89.192/26, 223.27.116.0/22, 54.64.147.10, 54.64.155.203, 54.64.190.88,
54.64.216.112, 54.64.218.172, 54.65.32.29, 54.65.60.75, 54.65.75.11, 54.65.84.88,
54.65.89.115, 54.65.94.77, 54.65.99.203, 54.65.102.82, 54.65.102.144, 54.65.102.156,
54.65.104.26, 54.65.105.0, 54.65.106.144, 54.65.109.30, 54.65.110.240, 54.65.111.249,
54.65.112.96, 54.65.115.118, 54.65.115.190, 54.65.119.80, 54.65.119.81, 54.65.119.132,
54.65.120.127, 54.65.123.42, 54.65.124.52, 202.241.206.0/25

ホワイトリストの設定解除

1. 「Gmailの設定」メニューから「迷惑メール、フィッシング、不正なソフトウェア」を選択します。

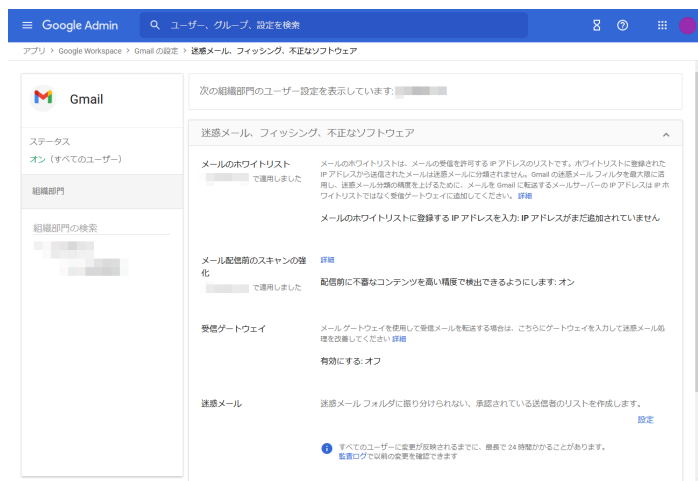


図 11. Gmailの設定画面

2. 「メールのホワイトリスト」に何も設定されていない場合は、この手順は不要です。

「メールのホワイトリスト」にActive! gate SS用のIPアドレス（下記）が設定されている場合は、該当の項目を削除します。

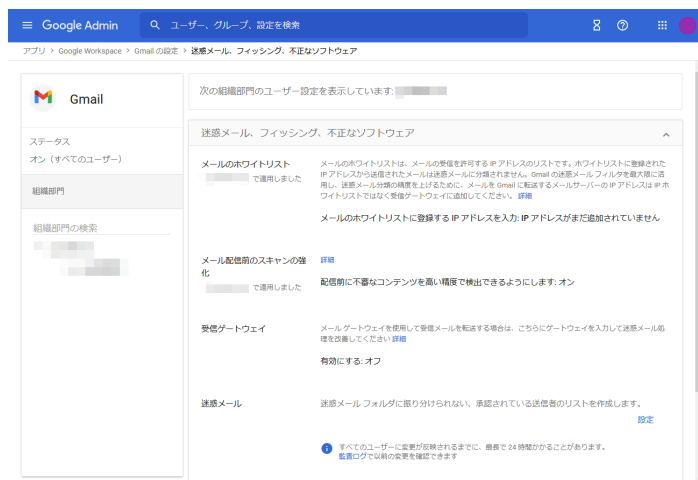


図 12. メールホワイトリスト

223.27.116.112/28,54.65.102.82,54.65.102.144,54.65.102.156,54.64.147.10,54.64.155.203,
54.64.190.88,54.64.216.112,54.64.218.172,54.65.32.29,54.65.60.75

1.1.2. ネットワーク設定を解除する

お客様のネットワークからActive! gate SSに接続するための設定を行なっている場合に、以下に示す手順で設定を解除してください。

SPFの設定解除

お客様のネットワークでSPFを設定している場合は、下記の手順でActive! gate SS用の設定を削除してください。

修正前

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.google.com include:_spf.activegate-ss.jp ~all'
```

修正後

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.google.com ~all'
```

ファイアーウォールの設定解除

お客様のネットワークで、Active! gate SSで使用するIPアドレスに接続できるようにファイアーウォールの設定を変更している場合は、設定を変更する必要があります。下記のIPアドレス・ポート番号に対するアクセス許可設定を削除するようにしてください。

IPアドレス	ポート番号
125.252.89.192/26	80番と443番ポート
223.27.116.0/22	80番と443番ポート
202.241.206.0/25	80番と443番ポート

1.1.3. 連携設定解除の確認

実際にメールを送信して、Active! gate SSを経由していないことを確認します。

1. Active! gate SSを利用していたメールアドレスから、確認できる自分以外のメールアドレス宛にメールを1通送信してください。



GWの仕様により、自分から自分宛のメールは送信済みと同じメールが受信トレイに表示されるため、連携解除の確認ができません。必ず自分以外のメールアドレス宛に送信してください。

2. [1]で送信したメールを受信できたら、メールヘッダを確認します。Receivedヘッダにactivegate-ss.jpドメインが含まれていなければ、連携設定が正しく解除されています。



GW側でActive! gate SSとの連携設定が解除されるまでに時間がかかる場合があります。1度送信してうまくいかなかった場合は、時間を置いてから確認メールの再送をしてください。

1.2. 正規表現を利用してGWの一部のユーザがActive! gate SSを利用している場合

正規表現によるマッチングでActive! gate SSを使用するユーザーを指定して連携している場合の、連携解除の方法です。

1.2.1. GW画面でActive! gate SS用の設定を削除する

手順に従い、Active! gate SSを利用するルート設定を削除します。

ルーティングの設定削除

1. GWの管理者画面にて管理者権限のあるユーザでログインします。



図 13. ログイン画面

2. 「管理コンソール」メニューから「アプリ」を選択します。

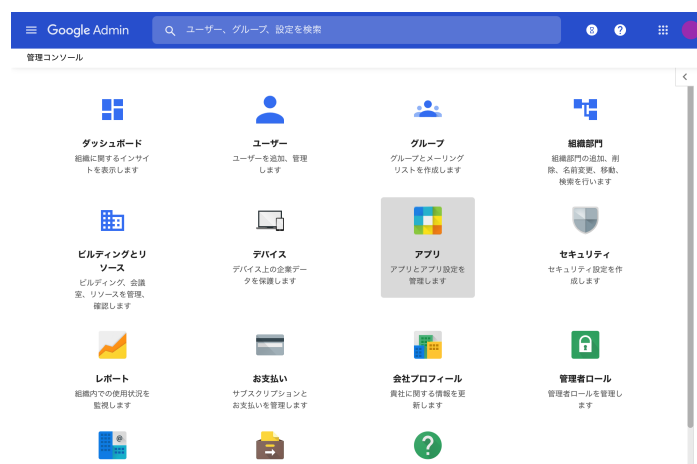


図 14. 管理コンソール画面

3. 「アプリ」メニューから「GW」を選択します。

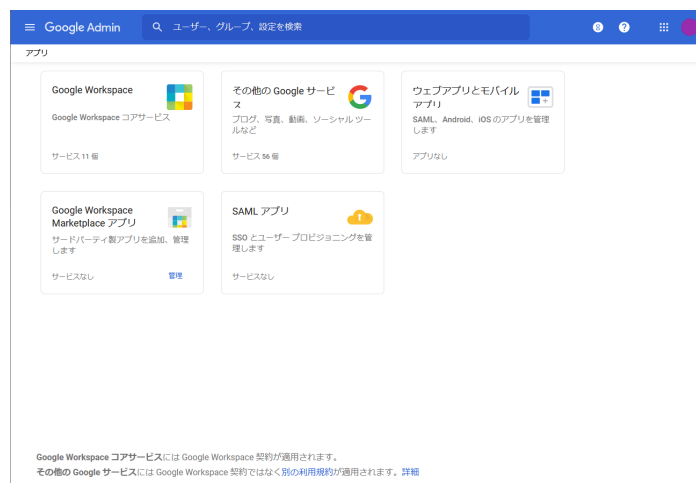


図 15. アプリ画面

4. 一覧から「Gmail」を選択します。

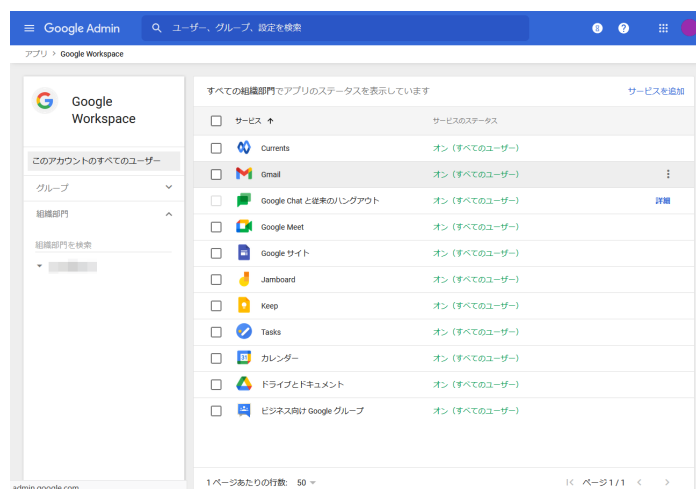


図 16. GW一覧画面

5. 「Gmailの設定」メニューから「ルーティング」を選択します。

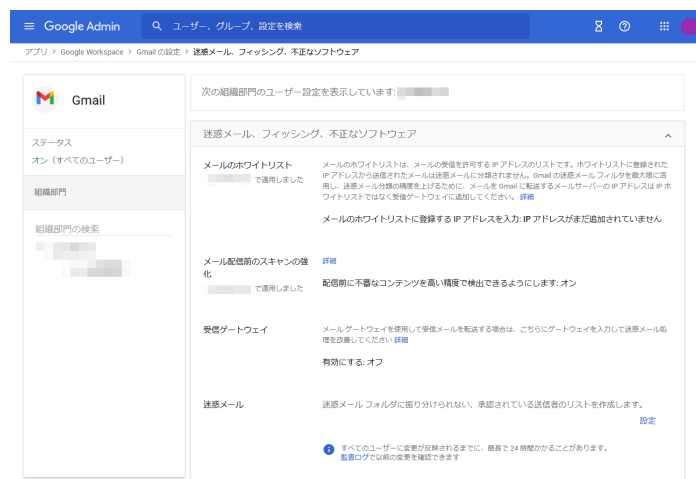


図 17. Gmailの設定画面

6. 「ルーティング」にあるActive! gate SS用に設定した項目の「削除」をクリックします。

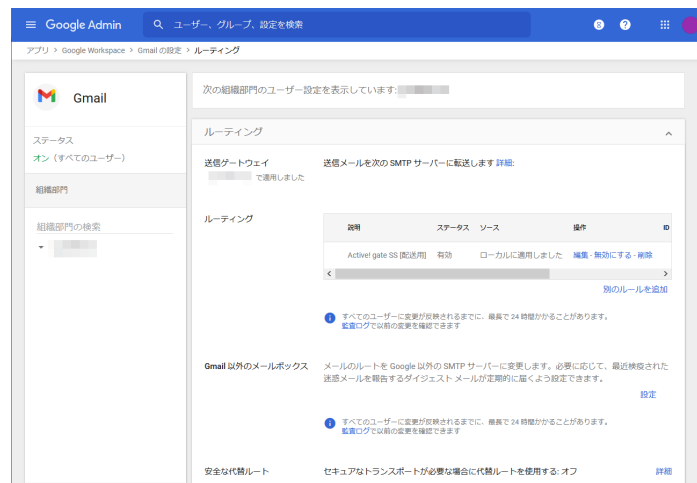


図 18. ルーティング

ホストの設定削除

1. 「Gmailの設定」メニューから「ホスト」を選択します。



図 19. Gmailの設定画面

2. Active! gate SS用に設定したホストの「削除」ボタンをクリックします。



図 20. ホスト

受信ゲートウェイの設定削除

1. 「Gmailの設定」メニューから「迷惑メール、フィッシング、不正なソフトウェア」を選択します。

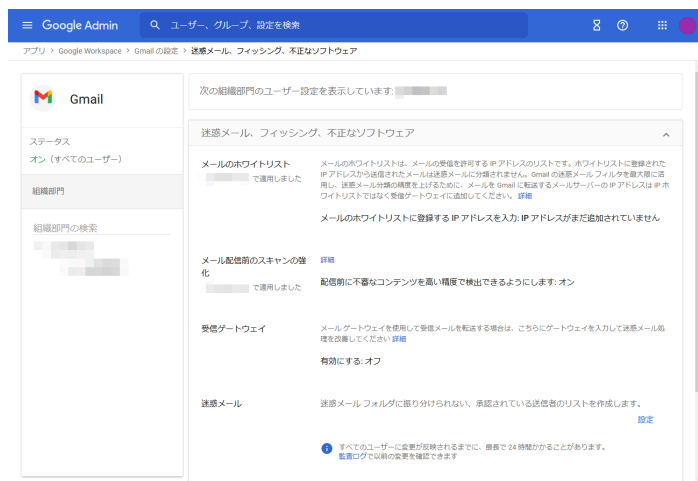


図 21. Gmail の設定画面

2. 「受信ゲートウェイ」が「有効にする：オフ」の場合は、この手順は不要です。

「有効にする：オン」の場合はクリックして編集画面を表示し、設定内容を確認してください。Active! gate SS用のIPアドレス（下記）が設定されている場合は、該当の項目を削除します。

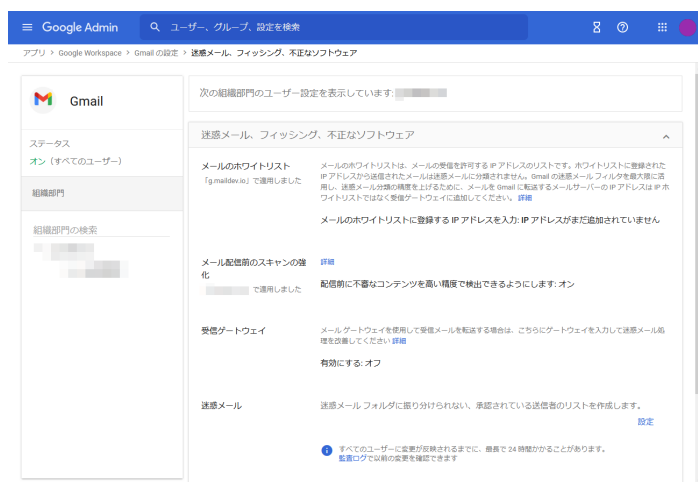


図 22. 受信ゲートウェイ

125.252.89.192/26, 223.27.116.0/22, 54.64.147.10, 54.64.155.203, 54.64.190.88,
54.64.216.112, 54.64.218.172, 54.65.32.29, 54.65.60.75, 54.65.75.11, 54.65.84.88,
54.65.89.115, 54.65.94.77, 54.65.99.203, 54.65.102.82, 54.65.102.144, 54.65.102.156,
54.65.104.26, 54.65.105.0, 54.65.106.144, 54.65.109.30, 54.65.110.240, 54.65.111.249,
54.65.112.96, 54.65.115.118, 54.65.115.190, 54.65.119.80, 54.65.119.81, 54.65.119.132,
54.65.120.127, 54.65.123.42, 54.65.124.52, 202.241.206.0/25

ホワイトリストの設定解除

1. 「Gmailの設定」メニューから「迷惑メール、フィッシング、不正なソフトウェア」を選択します。

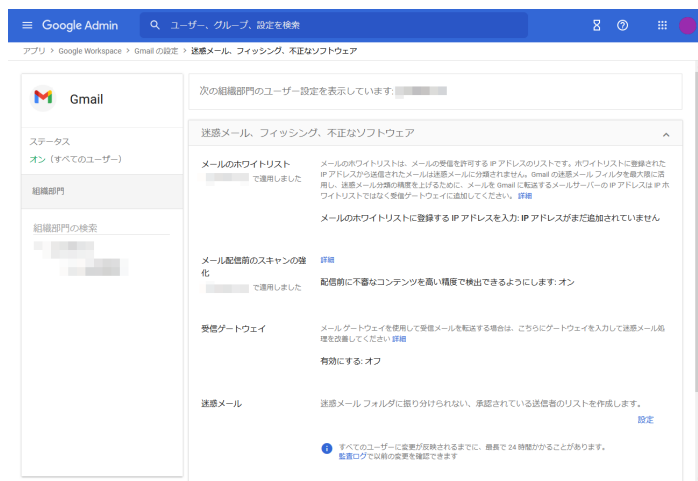


図 23. Gmailの設定画面

2. 「メールのホワイトリスト」に何も設定されていない場合は、この手順は不要です。

「メールのホワイトリスト」にActive! gate SS用のIPアドレス（下記）が設定されている場合は、該当の項目を削除します。

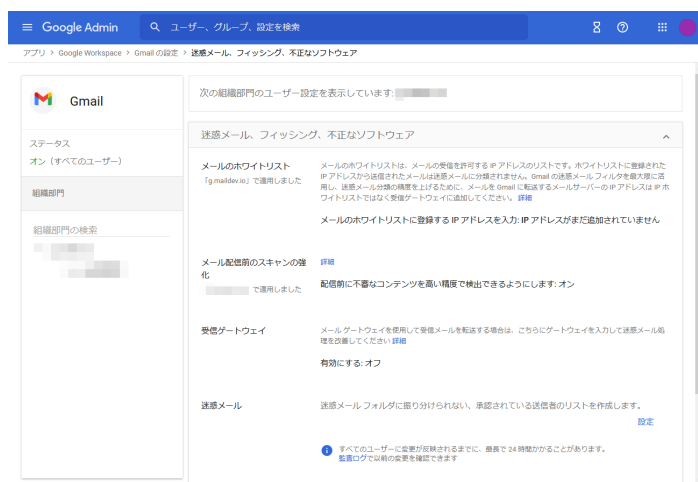


図 24. メールホワイトリスト

223.27.116.112/28,54.65.102.82,54.65.102.144,54.65.102.156,54.64.147.10,54.64.155.203,
54.64.190.88,54.64.216.112,54.64.218.172,54.65.32.29,54.65.60.75

1.2.2. ネットワーク設定を解除する

お客様のネットワークからActive! gate SSに接続するための設定を行なっている場合に、以下に示す手順で設定を解除してください。

SPFの設定解除

お客様のネットワークでSPFを設定している場合は、下記の手順でActive! gate SS用の設定を削除してください。

修正前

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.google.com include:_spf.activegate-ss.jp ~all'
```

修正後

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.google.com ~all'
```

ファイアーウォールの設定解除

お客様のネットワークで、Active! gate SSで使用するIPアドレスに接続できるようにファイアーウォールの設定を変更している場合は、設定を変更する必要があります。下記のIPアドレス・ポート番号に対するアクセス許可設定を削除するようにしてください。

IPアドレス	ポート番号
125.252.89.192/26	80番と443番ポート
223.27.116.0/22	80番と443番ポート
202.241.206.0/25	80番と443番ポート

1.2.3. 連携設定解除の確認

実際にメールを送信して、Active! gate SSを経由していないことを確認します。

1. Active! gate SSを利用していたメールアドレスから、確認できる自分以外のメールアドレス宛にメールを1通送信してください。



GWの仕様により、自分から自分宛のメールは送信済みと同じメールが受信トレイに表示されるため、連携解除の確認ができません。必ず自分以外のメールアドレス宛に送信してください。

2. [1]で送信したメールを受信できたら、メールヘッダを確認します。Receivedヘッダにactivegate-ss.jpドメインが含まれていなければ、連携設定が正しく解除されています。



GW側でActive! gate SSとの連携設定が解除されるまでに時間がかかる場合があります。1度送信してうまくいかなかった場合は、時間を置いてから確認メールの再送をしてください。

1.3. GWの特定の組織部門に所属するユーザがActive! gate SSを利用している場合

GWの「組織部門」を利用して、Active! gate SSを使用するユーザーを指定して連携している場合の、連携解除の方法です。

1.3.1. GW画面でActive! gate SS用の設定を削除する

手順に従い、Active! gate SSを利用するルート設定を削除します。

ルーティングの設定削除

1. GWの管理者画面にて管理者権限のあるユーザでログインします。



図 25. ログイン画面

2. 「管理コンソール」メニューから「アプリ」を選択します。

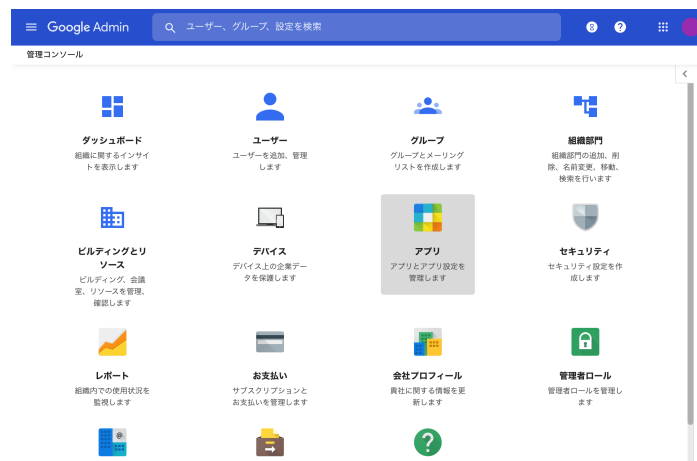


図 26. 管理コンソール画面

3. 「アプリ」メニューから「GW」を選択します。

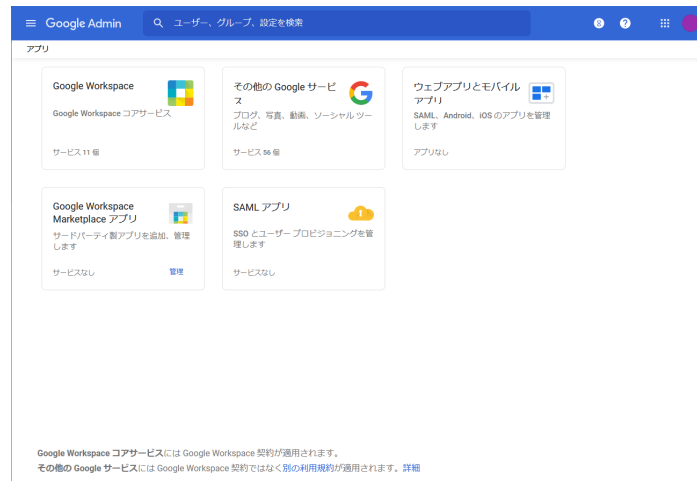


図 27. アプリ画面

4. 画面左の任意の組織部門を選択した状態で、サービスの一覧から「Gmail」を選択します。

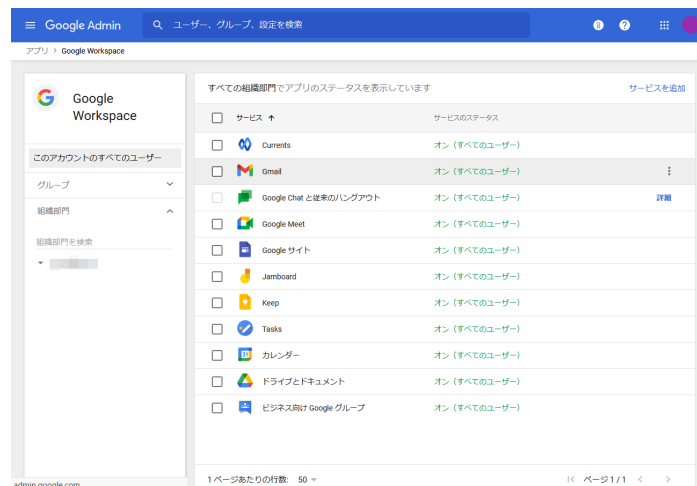


図 28. GW一覽画面

5. 「Gmailの設定」メニューから「ルーティング」を選択します。

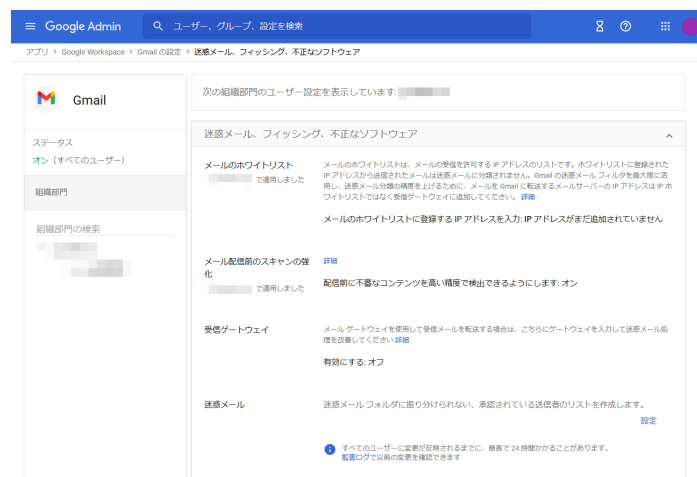


図 29. Gmail の設定画面

6. 解除対象の組織部門が選択されていることを確認し、「ルーティング」にあるActive! gate SS用に設定した項目の「削除」をクリックします。

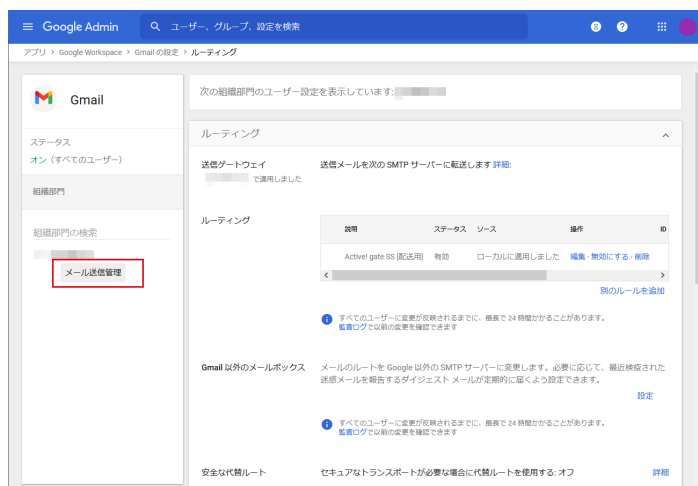


図 30. ルーティング



親組織（ドメイン）のルーティングが継承されている場合は、直接削除できません。親組織からドメイン内の全組織部門のルーティング設定を削除するか、この組織部門のルーティング設定のみを無効化するかを、解除する契約の内容から判断してください。

ホストの設定削除

1. 「Gmailの設定」メニューから「ホスト」を選択します。



図 31. Gmail の設定画面

2. Active! gate SS用に設定したホストの「削除」ボタンをクリックします。



図 32. ホスト

受信ゲートウェイの設定削除

1. 「Gmailの設定」メニューから「迷惑メール、フィッシング、不正なソフトウェア」を選択します。

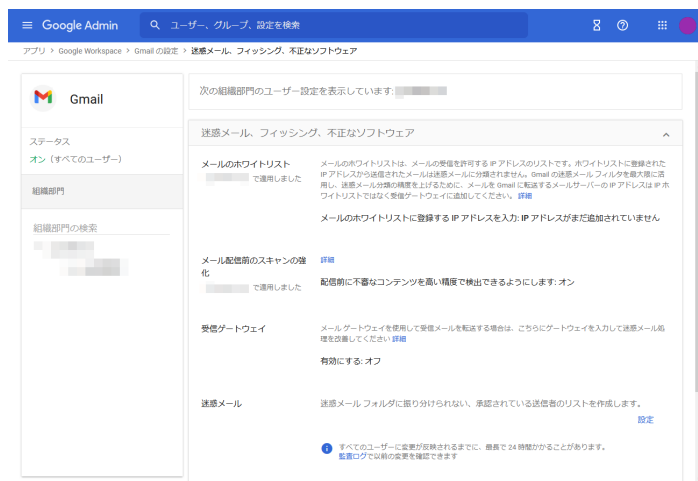


図 33. Gmailの設定画面

2. 解除対象の組織部門が選択されていることを確認し、「受信ゲートウェイ」項目を確認します。

「受信ゲートウェイ」が「有効にする：オフ」の場合は、この手順は不要です。

「有効にする：オン」の場合はクリックして編集画面を表示し、設定内容を確認してください。Active! gate SS用のIPアドレス（下記）が設定されている場合は、該当の項目のを削除します。

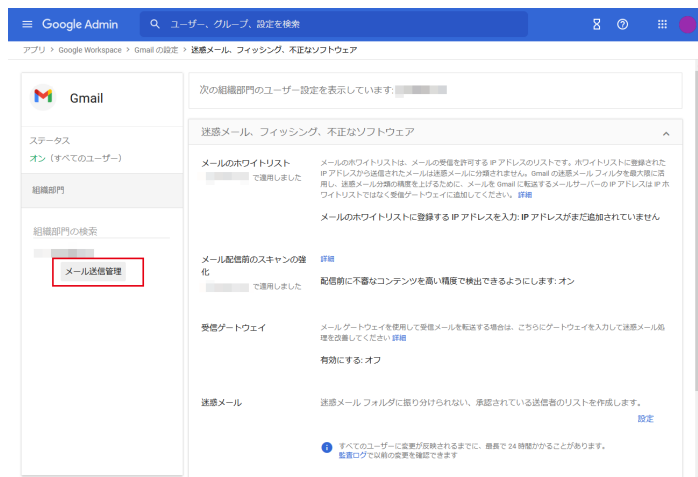


図 34. 受信ゲートウェイ

125.252.89.192/26, 223.27.116.0/22, 54.64.147.10, 54.64.155.203, 54.64.190.88,
54.64.216.112, 54.64.218.172, 54.65.32.29, 54.65.60.75, 54.65.75.11, 54.65.84.88,
54.65.89.115, 54.65.94.77, 54.65.99.203, 54.65.102.82, 54.65.102.144, 54.65.102.156,
54.65.104.26, 54.65.105.0, 54.65.106.144, 54.65.109.30, 54.65.110.240, 54.65.111.249,
54.65.112.96, 54.65.115.118, 54.65.115.190, 54.65.119.80, 54.65.119.81, 54.65.119.132,
54.65.120.127, 54.65.123.42, 54.65.124.52, 202.241.206.0/25

ホワイトリストの設定解除

1. 「Gmailの設定」メニューから「迷惑メール、フィッシング、不正なソフトウェア」を選択します。

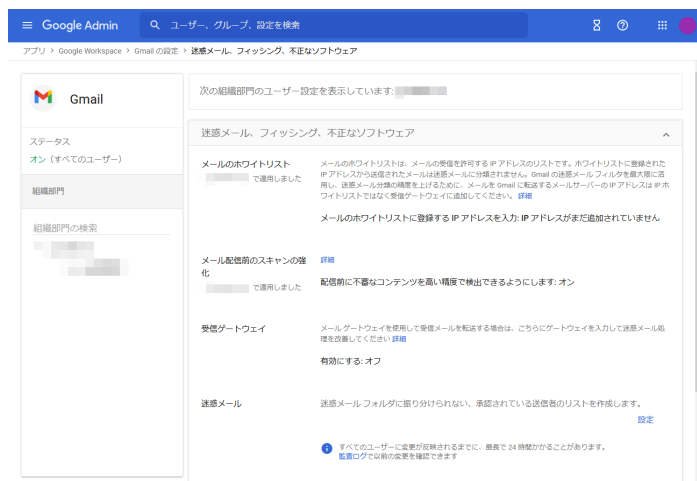


図 35. Gmailの設定画面

2. 解除対象の組織部門が選択されていることを確認し、「メールのホワイトリスト」項目を確認します。

「メールのホワイトリスト」に何も設定されていない場合は、この手順は不要です。

「メールのホワイトリスト」にActive! gate SS用のIPアドレス（下記）が設定されている場合は、該当の項目を削除します。

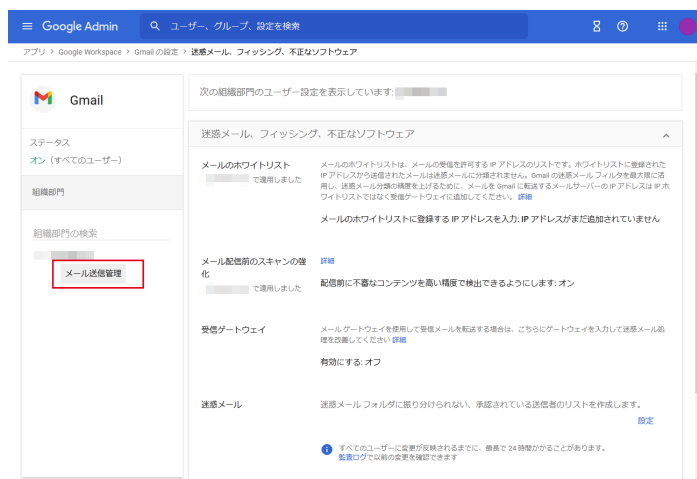


図 36. メール のホワイトリスト

223.27.116.112/28,54.65.102.82,54.65.102.144,54.65.102.156,54.64.147.10,54.64.155.203,
54.64.190.88,54.64.216.112,54.64.218.172,54.65.32.29,54.65.60.75

1.3.2. ネットワーク設定を解除する

お客様のネットワークからActive! gate SSに接続するための設定を行なっている場合に、以下に示す手順で設定を解除してください。

SPFの設定解除

お客様のネットワークでSPFを設定している場合は、下記の手順でActive! gate SS用の設定を削除してください。

修正前

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.google.com include:_spf.activegate-ss.jp ~all'
```

修正後

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.google.com ~all'
```

ファイアーウォールの設定解除

お客様のネットワークで、Active! gate SSで使用するIPアドレスに接続できるようにファイアーウォールの設定を変更している場合は、設定を変更する必要があります。下記のIPアドレス・ポート番号に対するアクセス許可設定を削除するようにしてください。

IPアドレス	ポート番号
125.252.89.192/26	80番と443番ポート
223.27.116.0/22	80番と443番ポート
202.241.206.0/25	80番と443番ポート

1.3.3. 連携設定解除の確認

実際にメールを送信して、Active! gate SSを経由していないことを確認します。

1. Active! gate SSを利用していたメールアドレスから、確認できる自分以外のメールアドレス宛にメールを1通送信してください。



GWの仕様により、自分から自分宛のメールは送信済みと同じメールが受信トレイに表示されるため、連携解除の確認ができません。必ず自分以外のメールアドレス宛に送信してください。

2. [1]で送信したメールを受信できたら、メールヘッダを確認します。Receivedヘッダにactivegate-ss.jpドメインが含まれていなければ、連携設定が正しく解除されています。



GW側でActive! gate SSとの連携設定が解除されるまでに時間がかかる場合があります。1度送信してうまくいかなかった場合は、時間を置いてから確認メールの再送をしてください。

2. Office 365とActive! gate SSの連携設定解除

Active! gate SS用に設定したOffice 365の設定を初期状態に戻す手順を説明します。

2.1. Office 365の全てのユーザがActive! gate SSを利用している場合

Office 365の全てのユーザがActive! gate SSを利用している場合の、連携解除の方法です。

2.1.1. Office 365画面でActive! gate SS用の設定を削除する

手順に従い、Active! gate SSを利用する「コネクタ」の設定を削除します。

コネクタの設定削除

1. Office 365の管理者画面にて管理者権限のあるユーザでログインします。

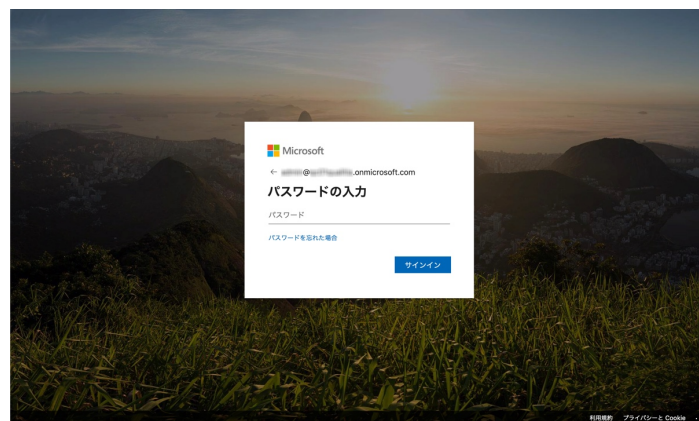


図 37. ログイン画面

2. メニューから「管理」を選択します。



図 38. メニュー画面

3. 「管理センター」メニューから「Exchange」を選択します。

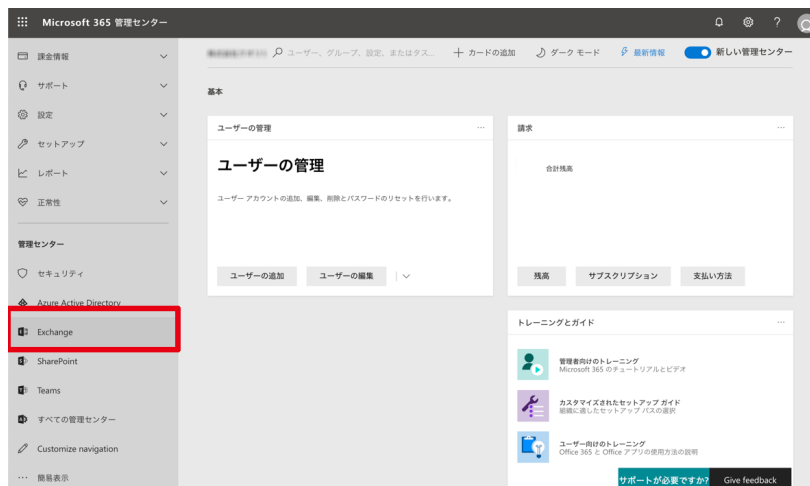


図 39. 管理センター画面

4. 「Exchange管理センター」メニューから「メールフロー」を選択します。



図 40. 管理センター画面

5. 「メールフロー画面」メニューから「コネクタ」を選択します。



図 41. メールフロー画面

6. コネクタ画面で[Active! gate SS]配送用（またはActive! gate SSの配送用に設定した名前）を選択すると「削除」ボタンが表示されますのでクリックします。



図 42. コネクタ画面

7. 確認用の警告画面が表示されるので「はい」をクリックします。



図 43. 警告画面

IPスロットリング制限に対する回避設定の削除

1. 「コネクタの設定削除」の手順と同じ「コネクタ」画面でActive! gate SS（またはActive! gate用のOffice 365のIPスロットリング制限の回避として設定した名前）を選択すると「削除」ボタンが表示されますのでクリックします。



図 44. コネクタ画面

2. 確認用の警告画面が表示されるので「はい」をクリックします。



図 45. 警告画面

2.1.2. ネットワーク設定を解除する

お客様のネットワークからActive! gate SSに接続するための設定を行なっている場合に、以下に示す手順で設定を解除してください。

SPFの設定解除

お客様のネットワークでSPFを設定している場合は、下記の手順でActive! gate SS用の設定を削除してください。

修正前

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.protection.outlook.com include:_spf.activegate-ss.jp -all'
```

修正後

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.protection.outlook.com -all'
```

ファイアーウォールの設定解除

お客様のネットワークで、Active! gate SSで使用するIPアドレスに接続できるようにファイアーウォールの設定を変更している場合は、設定を変更する必要があります。下記のIPアドレス・ポート番号に対するアクセス許可設定を削除するようにしてください。

IPアドレス	ポート番号
125.252.89.192/26	80番と443番ポート
223.27.116.0/22	80番と443番ポート
202.241.206.0/25	80番と443番ポート

2.1.3. 連携設定解除の確認

実際にメールを送信して、Active! gate SSを経由していないことを確認します。

1. Active! gate SSを利用していたメールアドレスから、確認できる自分以外のメールアドレス宛にメールを1通送信してください。
2. [1]で送信したメールを受信できたら、メールヘッダを確認します。Receivedヘッダにactivegate-ss.jpドメインが含まれていなければ、連携設定が正しく解除されています。



Office 365側でActive! gate SSとの連携設定が解除されるまでに時間がかかる場合があります。1度送信してうまくいかなかった場合は、時間を置いてから確認メールの再送をしてください。

2.2. Office 365の特定のドメインに所属するユーザがActive! gate SSを利用している場合

特定のドメインに所属する全てのユーザがActive! gate SSを利用している場合の、連携解除の方法です。

2.2.1. Office 365画面でActive! gate SS用の設定を削除する

手順に従い、Active! gate SSを利用する「トランスポートルール」と「コネクタ」の設定を削除します。

トランスポートルールの設定解除

1. Office 365の管理者画面にて管理者権限のあるユーザでログインします。

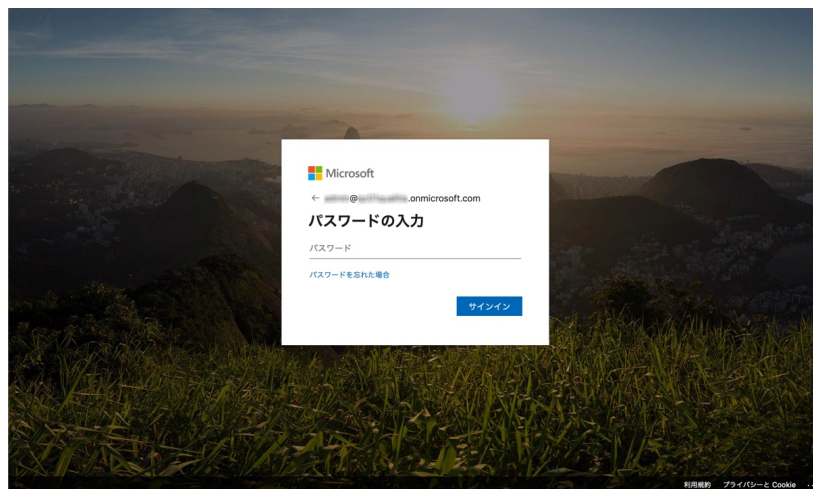


図 46. ログイン画面

2. メニューから「管理」を選択します。

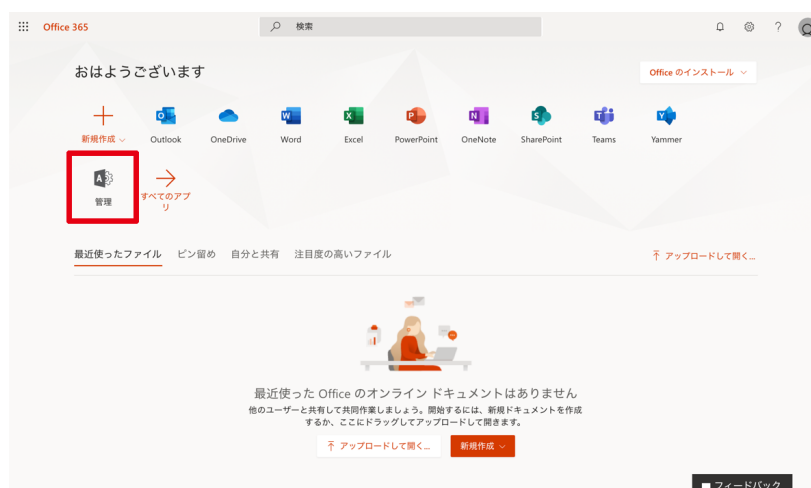


図 47. メニュー画面

3. 「管理センター」メニューから「Exchange」を選択します。

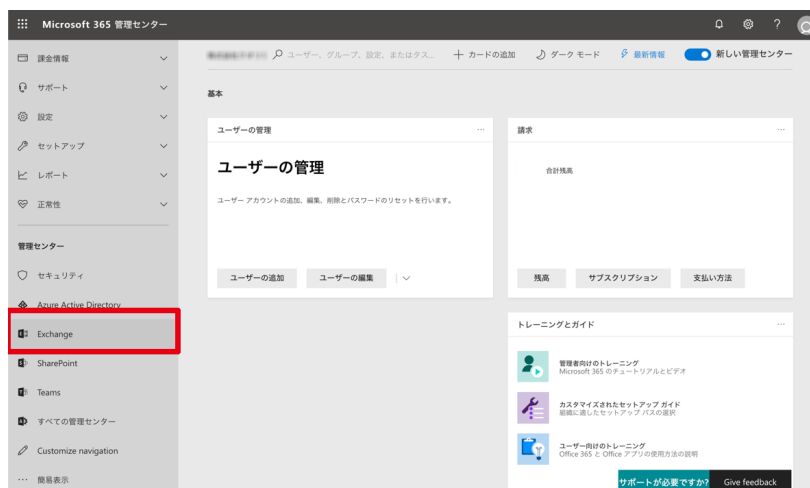


図 48. 管理センター画面

4. 「Exchange管理センター」メニューから「メールフロー」を選択します。



図 49. 管理センター画面

5. 「メールフロー」画面の「ルール」が開いていることを確認します。ルール画面で [Active! gate SS]一部のユーザのみ配送ルール（またはActive! gate SSの配送用に設定した名前）を選択すると「削除」ボタンが表示されますのでクリックします。



図 50. メールフロー画面

6. 確認用の警告画面が表示されるので「はい」をクリックします。

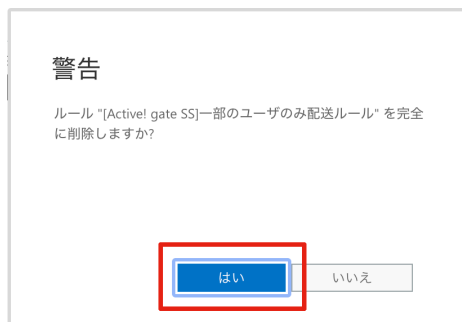


図 51. 警告画面

コネクタの設定削除

1. 「メールフロー画面」メニューから「コネクタ」を選択します。



図 52. メールフロー画面

2. コネクタ画面で[Active! gate SS]配送用（またはActive! gate SSの配送用に設定した名前）を選択すると「削除」ボタンが表示されますのでクリックします。



図 53. コネクタ画面

3. 確認用の警告画面が表示されるので「はい」をクリックします。



図 54. 警告画面

IPスロットリング制限に対する回避設定の削除

1. 「コネクタの設定削除」の手順と同じ「コネクタ」画面でActive! gate SS（またはActive! gate用のOffice 365のIPスロットリング制限の回避として設定した名前）を選択すると「削除」ボタンが表示されますのでクリックします。



図 55. コネクタ画面

2. 確認用の警告画面が表示されるので「はい」をクリックします。



図 56. 警告画面

2.2.2. ネットワーク設定を解除する

お客様のネットワークからActive! gate SSに接続するための設定を行なっている場合に、以下に示す手順で設定を解除してください。

SPFの設定解除

お客様のネットワークでSPFを設定している場合は、下記の手順でActive! gate SS用の設定を削除してください。

修正前

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.protection.outlook.com include:_spf.activegate-ss.jp -all'
```

修正後

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.protection.outlook.com -all'
```

ファイアーウォールの設定解除

お客様のネットワークで、Active! gate SSで使用するIPアドレスに接続できるようにファイアーウォールの設定を変更している場合は、設定を変更する必要があります。下記のIPアドレス・ポート番号に対するアクセス許可設定を削除するようにしてください。

IPアドレス	ポート番号
125.252.89.192/26	80番と443番ポート
223.27.116.0/22	80番と443番ポート
202.241.206.0/25	80番と443番ポート

2.2.3. 連携設定解除の確認

実際にメールを送信して、Active! gate SSを経由していないことを確認します。

1. Active! gate SSを利用していたメールアドレスから、確認できる自分以外のメールアドレス宛にメールを1通送信してください。
2. [1]で送信したメールを受信できたら、メールヘッダを確認します。Receivedヘッダにactivegate-ss.jpドメインが含まれていなければ、連携設定が正しく解除されています。



Office 365側でActive! gate SSとの連携設定が解除されるまでに時間がかかる場合があります。1度送信してうまくいかなかった場合は、時間を置いてから確認メールの再送をしてください。

2.3. Office 365の特定の一部のユーザーがActive! gate SSを利用している場合

特定の一部のユーザがActive! gate SSを利用している場合の、連携解除の方法です。

2.3.1. Office 365画面でActive! gate SS用の設定を削除する

手順に従い、Active! gate SSを利用する「トランスポートルール」と「コネクタ」の設定を削除します。

トランスポートルールの設定解除

1. Office 365の管理者画面にて管理者権限のあるユーザでログインします。

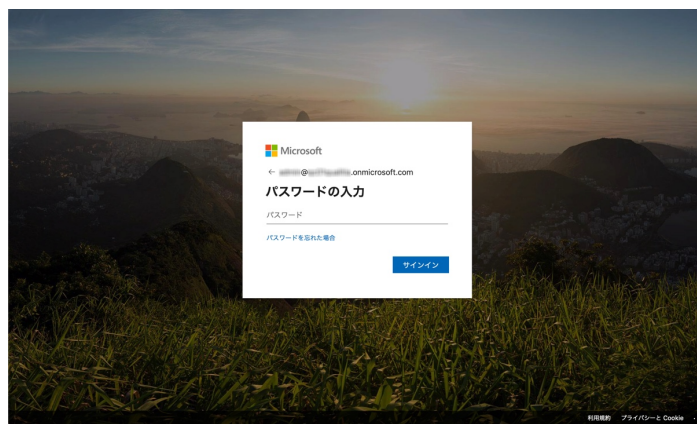


図 57. ログイン画面

2. メニューから「管理」を選択します。



図 58. メニュー画面

3. 「管理センター」メニューから「Exchange」を選択します。

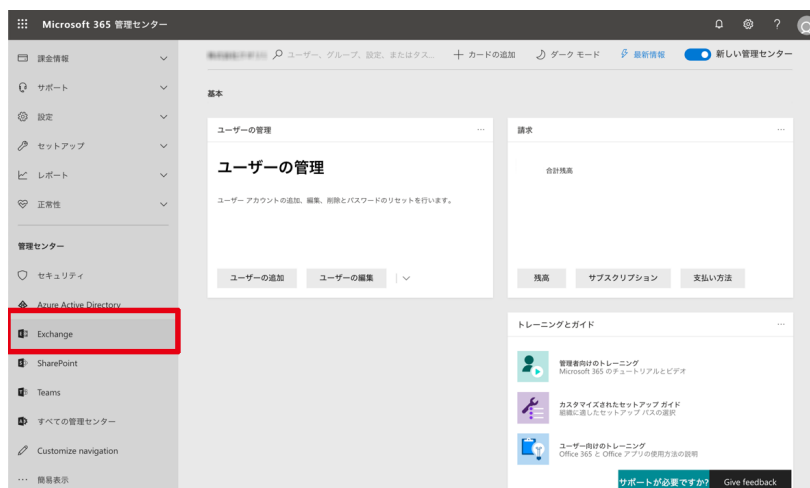


図 59. 管理センター画面

4. 「Exchange管理センター」メニューから「メールフロー」を選択します。



図 60. 管理センター画面

5. 「メールフロー」画面の「ルール」が開いていることを確認します。ルール画面で [Active! gate SS]一部のユーザのみ配送ルール（またはActive! gate SSの配送用に設定した名前）を選択すると「削除」ボタンが表示されますのでクリックします。



図 61. メールフロー画面

6. 確認用の警告画面が表示されるので「はい」をクリックします。

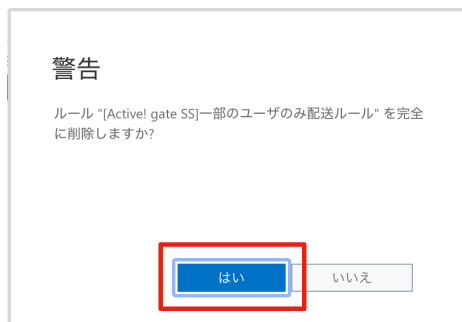


図 62. 警告画面

コネクタの設定削除

1. 「メールフロー画面」メニューから「コネクタ」を選択します。



図 63. メールフロー画面

2. コネクタ画面で[Active! gate SS]配送用（またはActive! gate SSの配送用に設定した名前）を選択すると「削除」ボタンが表示されますのでクリックします。



図 64. コネクタ画面

3. 確認用の警告画面が表示されるので「はい」をクリックします。



図 65. 警告画面

IPスロットリング制限に対する回避設定の削除

1. 「コネクタの設定削除」の手順と同じ「コネクタ」画面でActive! gate SS（またはActive! gate用のOffice 365のIPスロットリング制限の回避として設定した名前）を選択すると「削除」ボタンが表示されますのでクリックします。



図 66. コネクタ画面

2. 確認用の警告画面が表示されるので「はい」をクリックします。

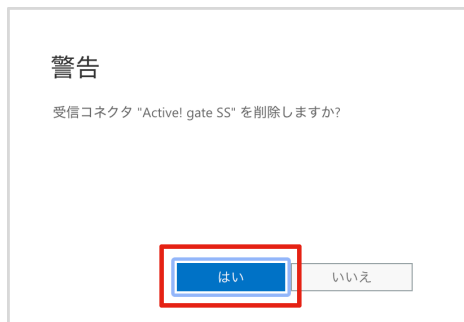


図 67. 警告画面

2.3.2. ネットワーク設定を解除する

お客様のネットワークからActive! gate SSに接続するための設定を行なっている場合に、以下に示す手順で設定を解除してください。

SPFの設定解除

お客様のネットワークでSPFを設定している場合は、下記の手順でActive! gate SS用の設定を削除してください。

修正前

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.protection.outlook.com include:_spf.activegate-ss.jp -all'
```

修正後

```
IN TXT 'v=spf1 include:_spf.protection.outlook.com -all'
```

ファイアーウォールの設定解除

お客様のネットワークで、Active! gate SSで使用するIPアドレスに接続できるようにファイアーウォールの設定を変更している場合は、設定を変更する必要があります。下記のIPアドレス・ポート番号に対するアクセス許可設定を削除するようにしてください。

IPアドレス	ポート番号
125.252.89.192/26	80番と443番ポート
223.27.116.0/22	80番と443番ポート
202.241.206.0/25	80番と443番ポート

2.3.3. 携設定解除の確認

実際にメールを送信して、Active! gate SSを経由していないことを確認します。

1. Active! gate SSを利用していたメールアドレスから、確認できる自分以外のメールアドレス宛にメールを1通送信してください。
2. [1]で送信したメールを受信できたら、メールヘッダを確認します。Receivedヘッダにactivegate-ss.jpドメインが含まれていなければ、連携設定が正しく解除されています。



Office 365側でActive! gate SSとの連携設定が解除されるまでに時間がかかる場合があります。1度送信してうまくいかなかった場合は、時間を置いてから確認メールの再送をしてください。

3. メールソフトとActive! gate SSとの連携設定の解除

ユーザーのPCにインストールされたメールソフトからActive! gate SSの利用を解除する場合の設定方法をご説明します。

ここでは代表的なメールソフトについて説明します。

- Windows 10 メールアプリ
- Microsoft Outlook 2019
- Mozilla Thunderbird
- Becky! Internet Mail Ver.2
- メール (macOS)

3.1. Windows 10 メールアプリ

Windows 10 メールアプリからActive! gate SSを使用している場合の連携解除方法です。



この設定手順は、メールアプリにアカウントを追加した際に「詳細設定」を使用して登録された情報を編集する場合の設定手順です。



メールソフトのバージョンアップ等により、設定解除手順や画面が変更になる場合があります。

手順に従い、Windows 10 メールアプリの設定を編集してください。

1. メールアプリを起動して画面左下の「設定」アイコンをクリックします。

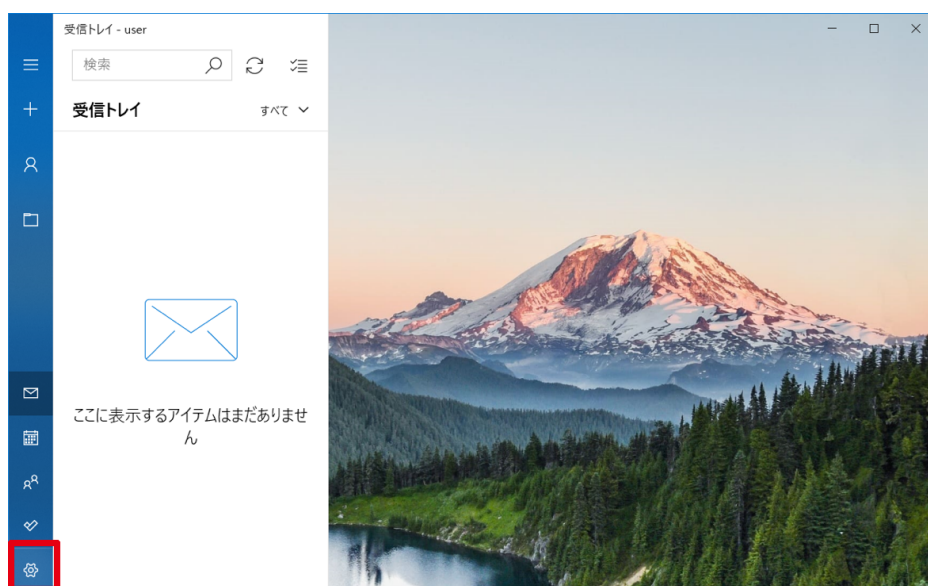


図 68. メールアプリ

2. 「設定」メニューから「アカウントの管理」を開きます。

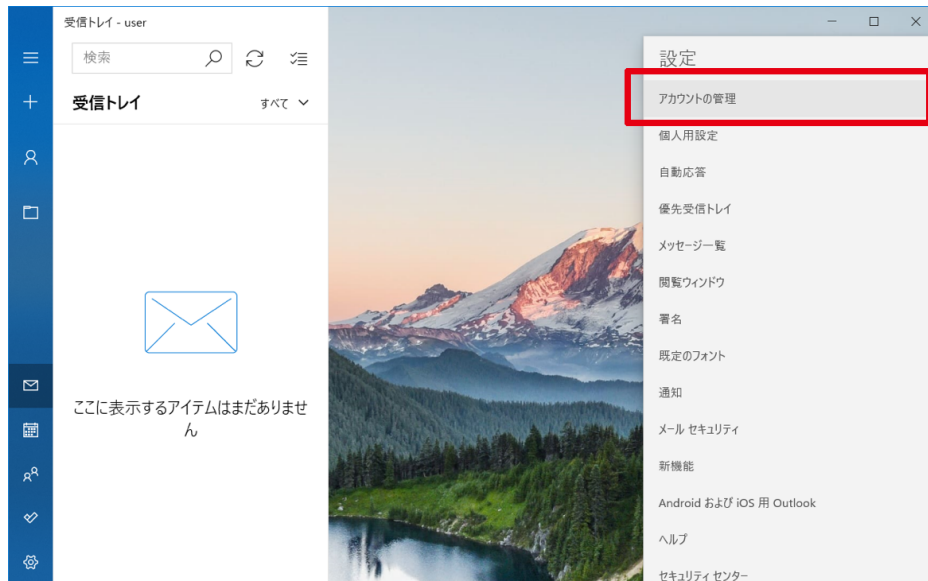


図 69. 設定メニュー

3. 「アカウントの管理」画面からActive! gate SSを利用しているアカウントの設定を開きます。

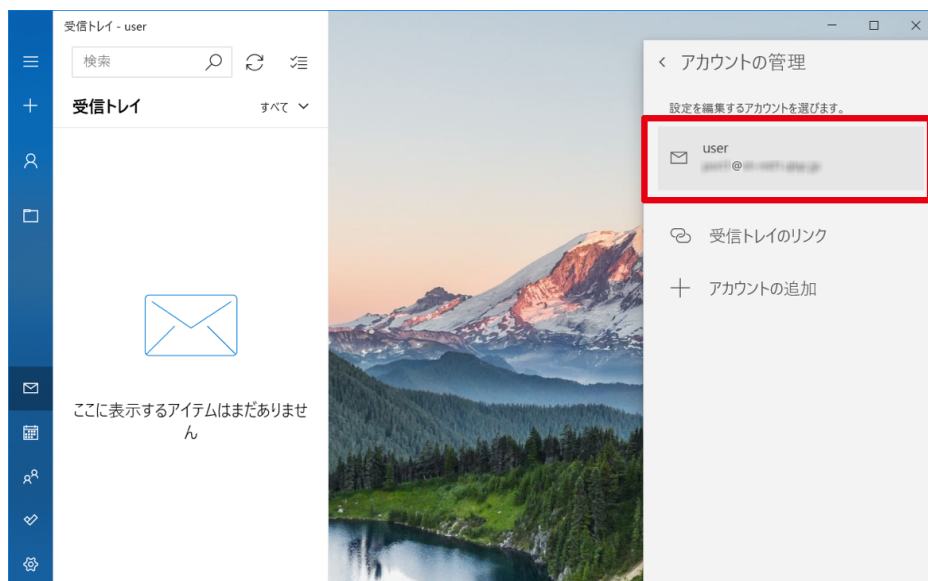


図 70. 設定メニュー

4. 「アカウントの設定」画面から、「メールボックスの同期設定を変更」をクリックします。

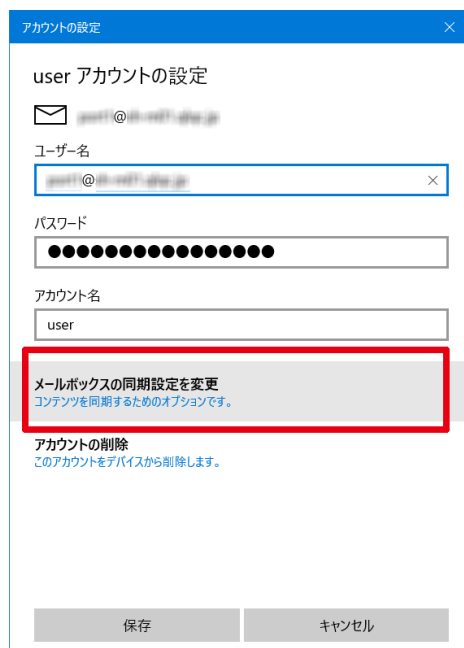


図 71. アカウントの設定画面

5. 「メールボックスの詳細設定」をクリックします。

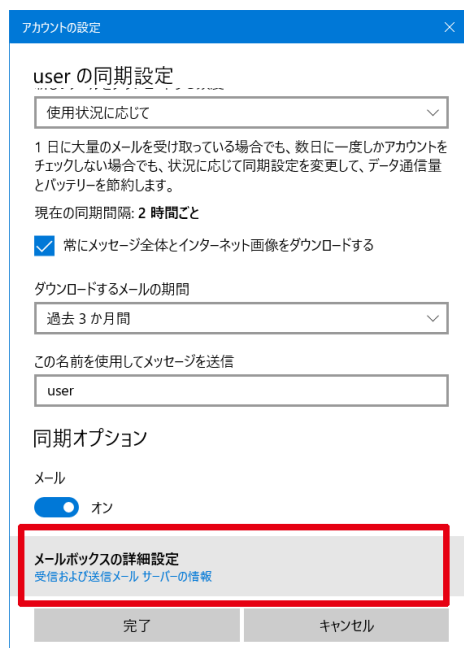


図 72. メールボックスの詳細設定画面

6. サーバー情報を設定します。

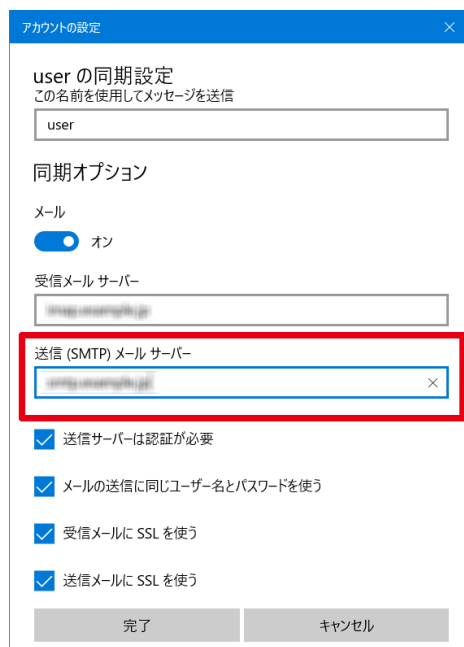


図 73. サーバ情報画面

送信（SMTP）メールサーバー

G suiteもしくはOffice 365、お使いのメールサービスから通知されている送信メールサーバーの情報を入力してください。

- 「メールの送信に同じユーザー名とパスワードを使う」のチェックを外すと、設定項目が表示されます。

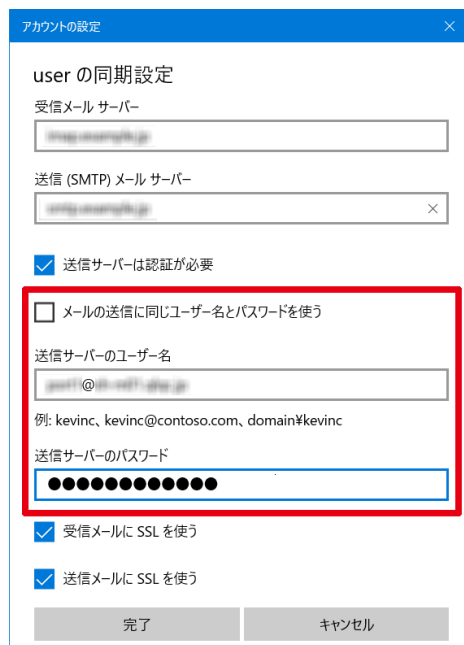


図 74. 設定項目

送信サーバーのユーザー名

お使いのメールサービスから告知されているユーザー名（ユーザーID）を入力します。一般的にはメールアドレスが使われています。

送信サーバーのパスワード

G suiteもしくはOffice 365、お使いのメールサービスから通知されているパスワードを入力します。

8. 「完了」をクリックします。
9. 「アカウントの設定」画面で「保存」をクリックして画面を閉じます。

以上でメールソフトの設定は完了です。メールを送信して正しく設定できているか確認してください。詳細は 3.6, “連携設定解除の確認”をご参照ください。

3.2. Microsoft Outlook 2019とActive! gate SSの連携設定の解除

Microsoft Outlook 2019からActive! gate SSを使用している場合の連携解除方法です。



この設定手順は、メールソフトとしてMicrosoft Outlook 2019を使用し、Office 365のサービスを利用していない場合の連携設定を解除する手順です。Office 365をご利用の場合は2, “Office 365とActive! gate SSの連携設定解除”に従ってください。



メールソフトのバージョンアップ等により、設定解除手順や画面が変更になる場合があります。

手順に従い、Microsoft Outlook 2019（以下Outlook 2019）の設定を編集してください。

1. Outlook 2019を起動し、「ファイル」タブをクリックして「アカウント情報」画面を開きます。

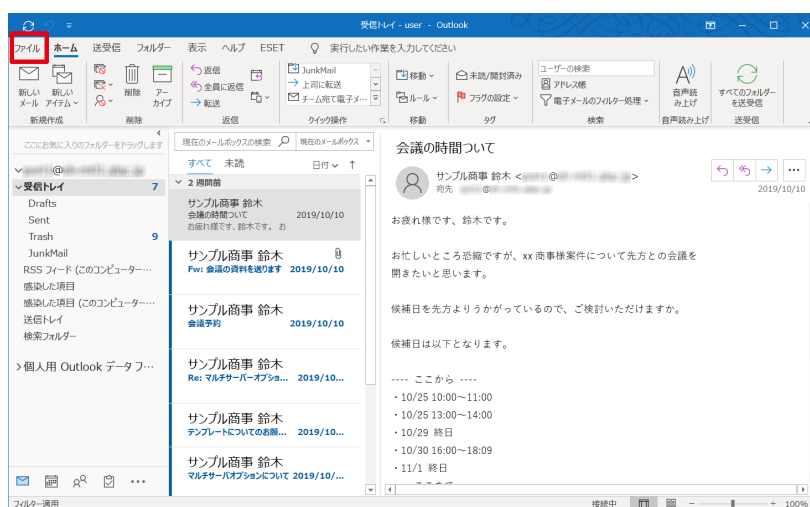


図 75. ファイルタブ

2. 「アカウント情報」画面でActive! gate SSを利用しているアカウントを一覧メニューから選択します。

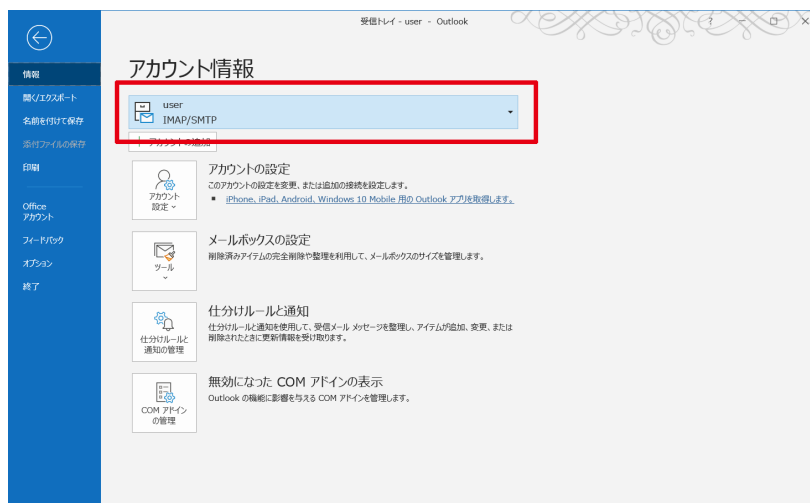


図 76. アカウント情報画面

3. 「アカウント設定」ボタンをクリックし、メニューから「サーバーの設定」を選択します。



図 77. アカウント情報画面

4. 「IMAPアカウントの設定」画面で「送信メール」をクリックします。

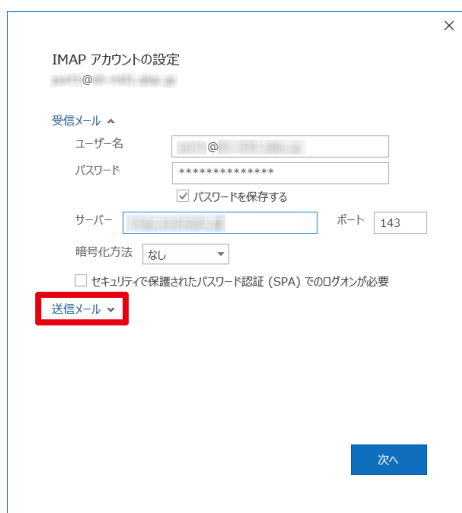


図 78. IMAPアカウントの設定画面

5. 送信サーバに関する設定を入力します。



図 79. パスワード入力画面

サーバー

お使いのメールサービスから通知されている送信メールサーバーの情報を入力してください。

ポート

お使いのメールサービスから通知されている送信メール用のポート番号を入力してください。

暗号化方法

お使いのメールサービスから通知されている暗号化方法、もしくは「自動」を設定してください。

送信（SMTP）サーバーには認証が必要です

お使いのメールサービスが対応している場合、有効にしてください。また、メールサービスから特に指定がない場合は、「受信メールサーバと同じ設定を使用する」を選択してください。

ユーザー名

お使いのメールサービスから告知されているユーザー名（ユーザーID）を入力します。一般的にはメールアドレスが使われています。

パスワード

お使いのメールサービスから告知されている送信用パスワードを入力します。一般的には受信用と同一のパスワードが使われています。

パスワードを保存する

チェックを入れます。

6. 「次へ」 ボタンをクリックします。「次のサーバのアカウント名とパスワードを入力してください」と表示された場合は、5.で設定したパスワードを入力して「OK」をクリックします。
7. 「アカウントが正常に更新されました」と表示されたら、「完了」 ボタンをクリックして画面を閉じます。

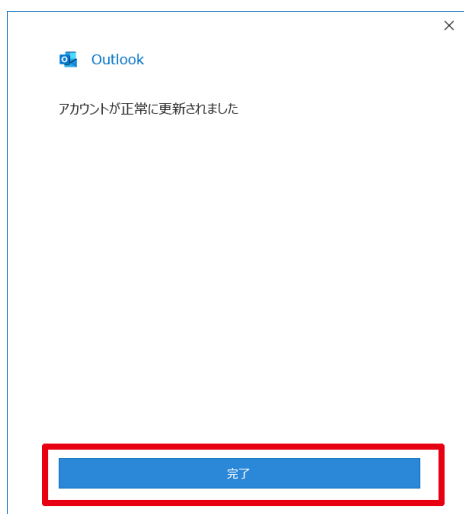


図 80. 完了画面

8. アカウント設定画面の「閉じる」 ボタンをクリックして画面を閉じます。

以上でメールソフトの設定は完了です。メールを送信して正しく設定できているか確認してください

い。詳細は 3.6, “連携設定解除の確認”をご参照ください。

3.3. Mozilla ThunderbirdとActive! gate SSの連携設定の解除

Mozilla ThunderbirdからActive! gate SSを使用している場合の連携解除方法です。



メールソフトのバージョンアップ等により、設定解除手順や画面が変更になる場合があります。

手順に従い、Mozilla Thunderbird（以下Thunderbird）の設定を解除してください。

1. Thunderbirdを起動し、画面右側のメニューから「オプション」の「アカウント設定」を選択します。

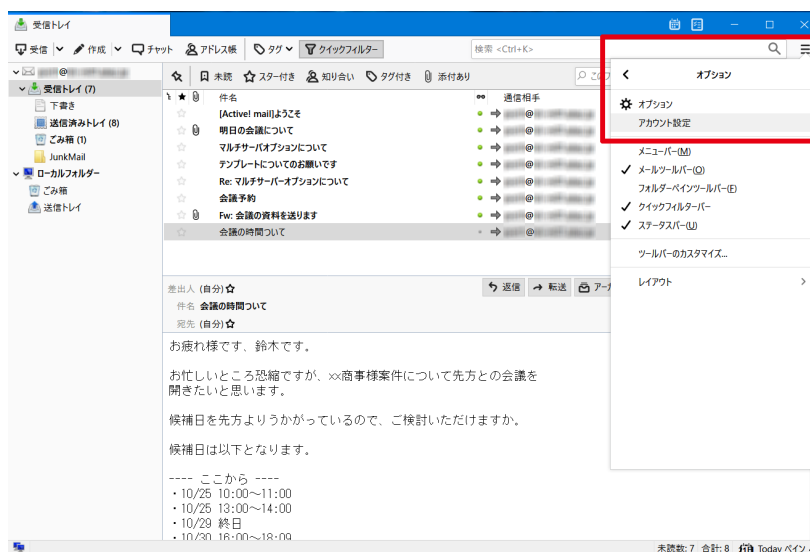


図 81. オプションメニュー

2. 「アカウント設定」画面が開いたら、画面左側のアカウント一覧にある「送信（SMTP）サーバー」をクリックします。

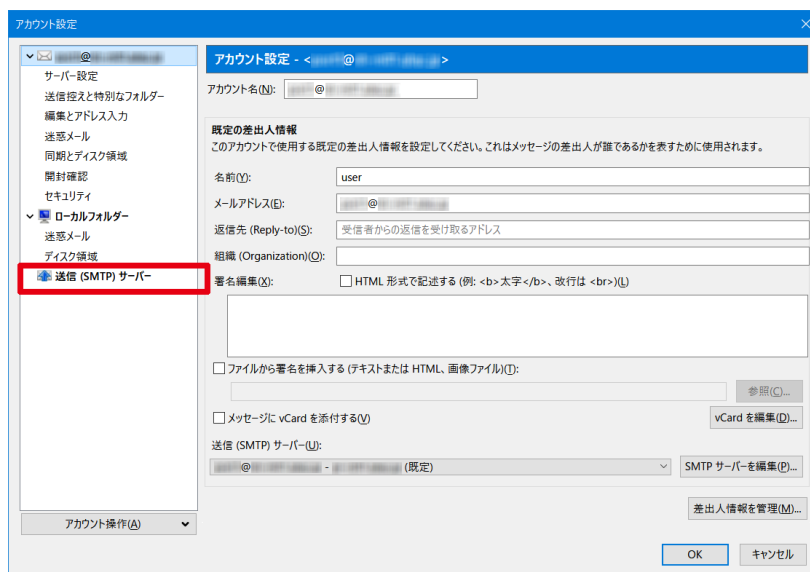


図 82. アカウント設定画面

3. 「送信（SMTP）サーバーの設定」画面で、Active! gate SSを使用するアカウントを選択し、「編集」をクリックします

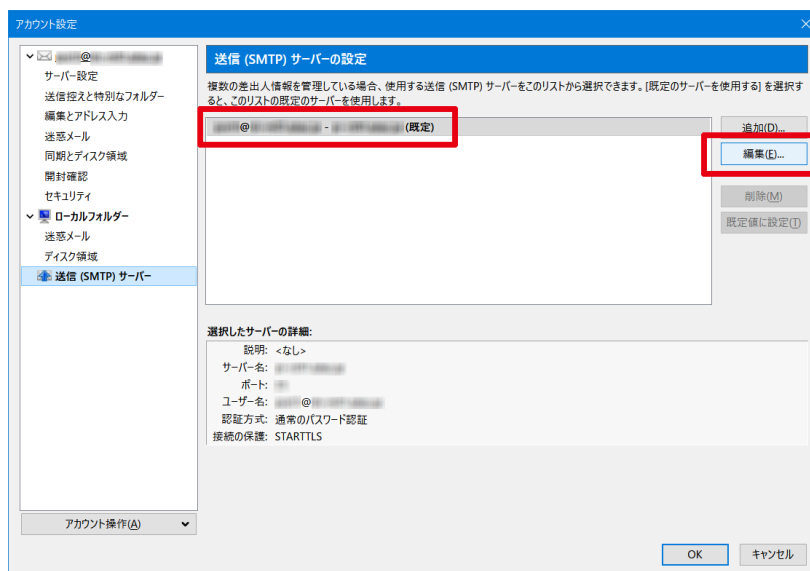


図 83. 送信サーバーの設定画面

4. 「送信 (SMTP) サーバー」画面でサーバ情報などの設定をします。

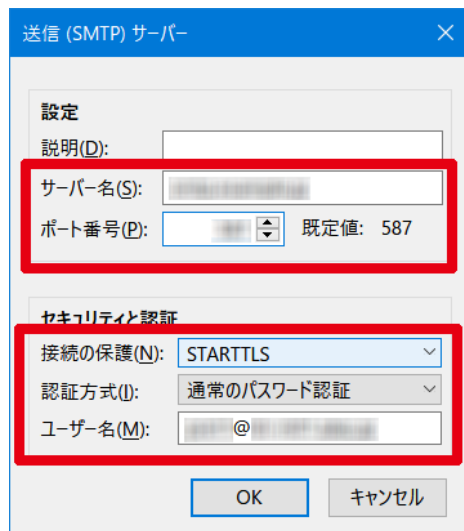


図 84. 送信サーバー画面

サーバー名

お使いのメールサービスから通知されている送信メールサーバーのホスト名を入力してください。

ポート番号

お使いのメールサービスから告知された送信サーバのポート番号を入力してください。ポート番号は587が一般的に使用されています。

接続の保護

お使いのメールサービスから通知されている暗号化形式を選択してください。一般的にはSTARTTLSが使われています。

認証方式

お使いのメールサービスから通知されている認証形式を選択してください。

- 「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。
- アカウント設定画面の「OK」ボタンをクリックして画面を閉じます。
- 画面右側のメニューから「オプション」の「オプション」を選択します。

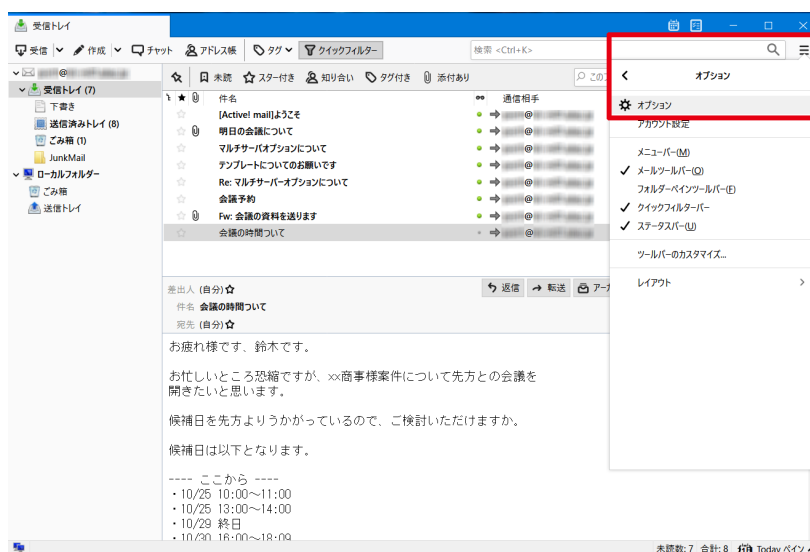


図 85. オプションメニュー

- 画面左側のメニューから「セキュリティ」をクリックします。

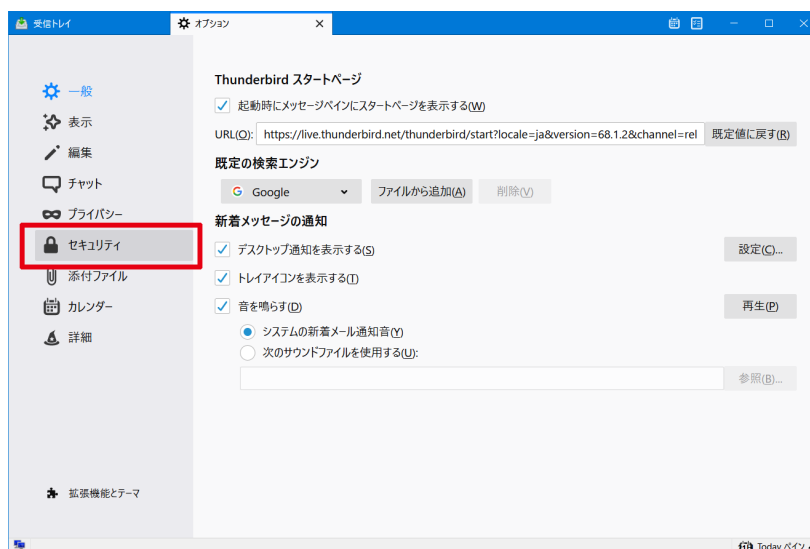


図 86. オプション画面

- 「パスワード」タブをクリックします。

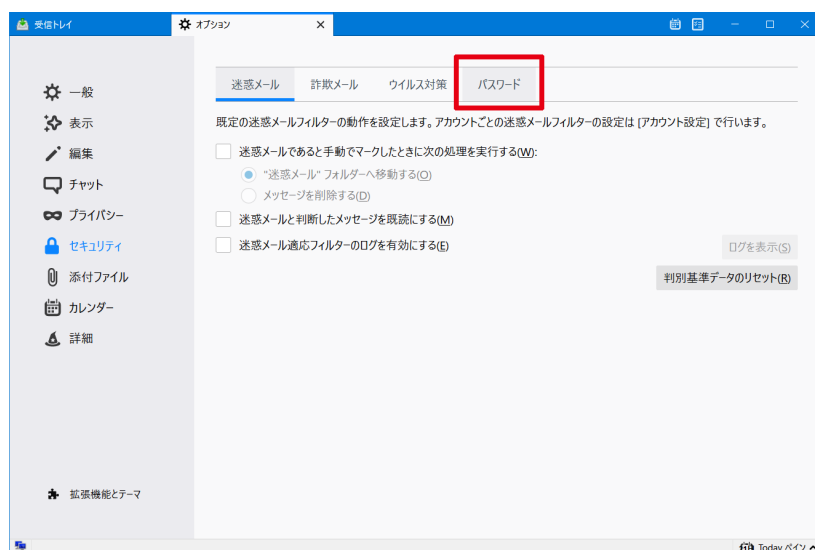


図 87. セキュリティ画面

10. 「保存されているパスワード」ボタンをクリックします。

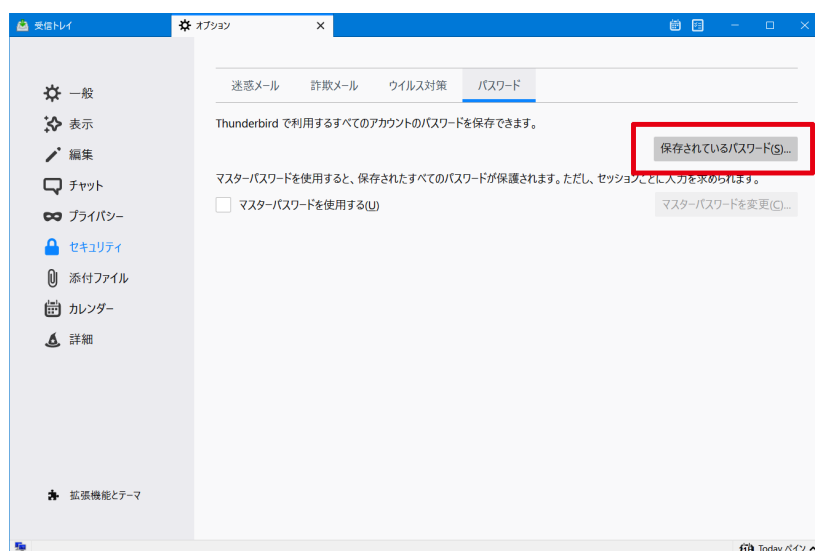


図 88. パスワード画面

11. 「保存されたログイン情報」画面から「パスワードを表示する」ボタンをクリックします。



図 89. 保存されたログイン情報画面

12. 「パスワードを表示しますか」の確認画面で「はい」ボタンをクリックします。

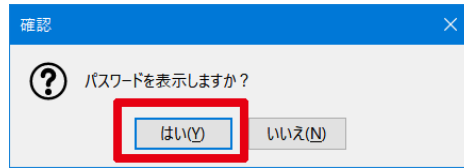


図 90. 確認画面

13. 一覧から「smtp」から始まるActive! gate SSを利用しているアカウントを選択し、パスワードのセルをダブルクリックしてパスワードを編集して「Enter」キーを押します。



図 91. パスワード変更画面

パスワード

お使いのメールサービスから通知されているパスワードを入力します。

14. 「閉じる」ボタンをクリックして画面を閉じます。
15. オプション画面を閉じます。

以上でメールソフトの設定は完了です。メールを送信して正しく設定できているか確認してください。詳細は 3.6, “連携設定解除の確認”をご参照ください。

3.4. Becky! Internet Mail Ver.2とActive! gate SSの連携設定の解除

Becky! Internet Mail Ver.2からActive! gate SSを使用している場合の連携解除方法です。



メールソフトのバージョンアップ等により、設定解除手順や画面が変更になる場合があります。

手順に従い、Becky! Internet Mail Ver.2（以下Becky!）の設定を解除してください。

1. Becky!を起動し、「ツール」メニューから「メールボックスの設定」を選択します。

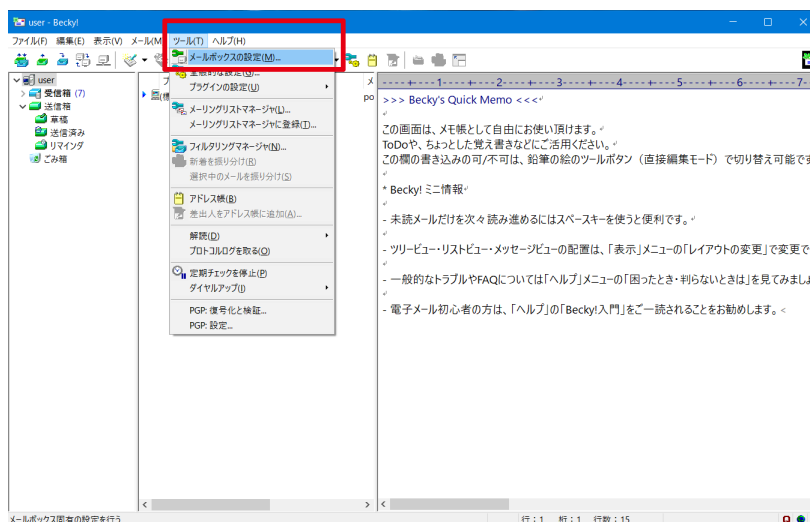


図 92. ツールメニュー

2. 「基本設定」タブからSMTPサーバーの情報を編集します。

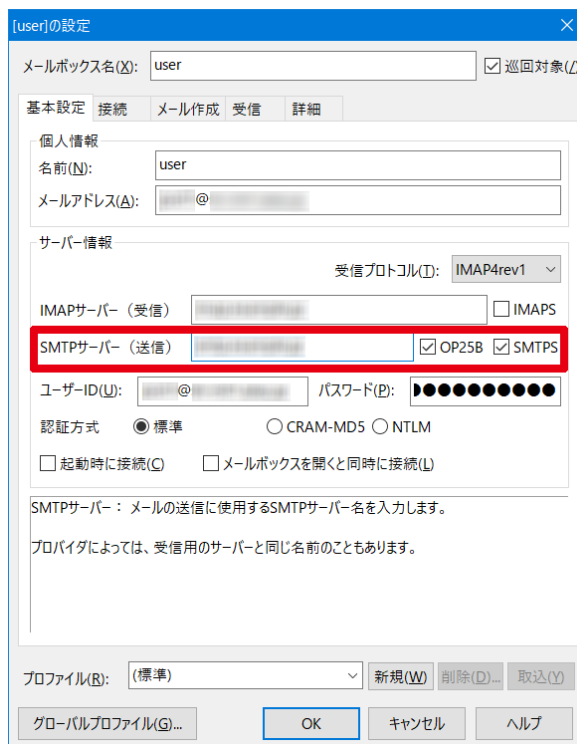


図 93. 基本設定タブ

SMTPサーバー（送信）

お使いのメールサービスから通知されている送信メールサーバーの情報を入力してください。

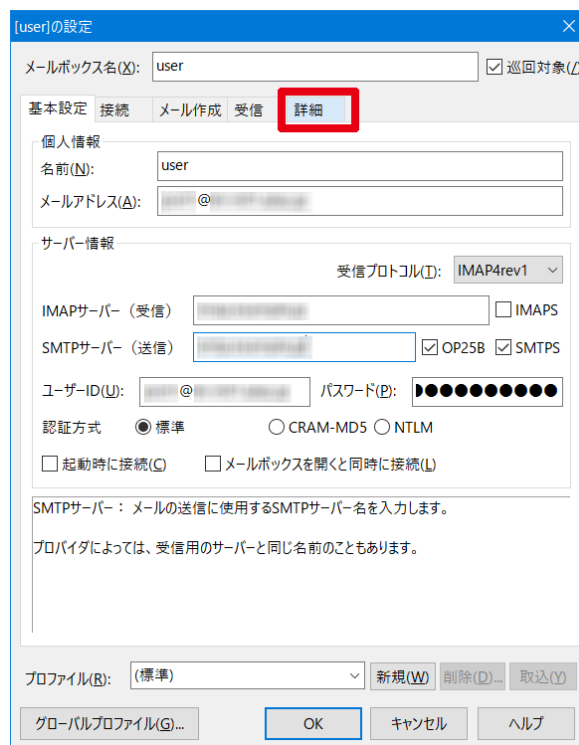
OP25B

お使いのメールサービスからサブミッションポートの利用が必要と通知されている場合にチェックを入れてください。

SMTPS

お使いのメールサービスからSMTP/Over TLSの設定が必要と通知されている場合にチェックを入れてください。

3. 「詳細」タブをクリックします。



The screenshot shows the 'Details' tab of the '[user]の設定' (User Settings) dialog box. The 'SMTPサーバー（送信）' (SMTP Server (Outgoing)) field is highlighted with a blue box. The 'SMTPS' checkbox is checked. The 'OP25B' checkbox is also checked. The 'IMAPサーバー（受信）' (IMAP Server (Incoming)) field is empty. The 'IMAPS' checkbox is unchecked. The 'ユーザーID(U):' (User ID) field is empty. The 'パスワード(P):' (Password) field is masked with dots. The '認証方式' (Authentication Method) is set to '標準' (Standard). The '起動時に接続(C)' (Connect on startup) checkbox is unchecked. The 'メールボックスを開くと同時に接続(L)' (Connect when opening mailbox) checkbox is unchecked. The 'SMTPサーバー' (SMTP Server) section contains the following text: 'SMTPサーバー：メールの送信に使用するSMTPサーバー名を入力します。' (SMTP Server: Enter the SMTP server name used for sending mail.) and 'プロバイダによっては、受信用のサーバーと同じ名前もあります。' (Depending on the provider, the name may be the same as the receiving server.)

図 94. 詳細タブ

4. SMTP認証に関する設定を編集します。

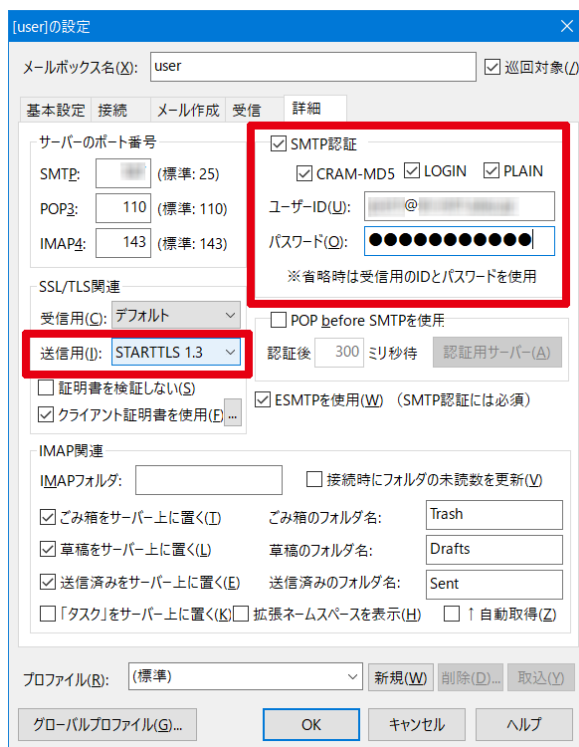


図 95. SMTP認証

SMTP認証

お使いのメールサービスがSMTP認証に対応している場合はチェックを入れます。

ユーザーID

お使いのメールサービスから告知されているユーザー名（ユーザーID）を入力します。一般的にはメールアドレスが使われています。

パスワード

お使いのメールサービスから告知されている送信用パスワードを入力します。一般的には受信用と同一のパスワードが使われています。

SSL/TLS関連 送信用

お使いのメールサービスから告知されている暗号化方式を選択します。複数のバージョンに対応している場合は、出来るだけバージョン番号が大きなものを選択してください。

5. 「OK」ボタンをクリックして、メールボックスの設定画面を閉じます。

以上でメールソフトの設定は完了です。メールを送信して正しく設定できているか確認してください。詳細は 3.6, “連携設定解除の確認”をご参照ください。

3.5. メール（macOS）とActive! gate SSの連携設定の解除

macOSのメールからActive! gate SSを使用している場合の連携解除方法です。



メールソフトのバージョンアップ等により、設定解除手順や画面が変更になる場合があります。

手順に従い、メールの設定を解除してください。

1. メールを起動し、「メール」メニューから「環境設定」を選択します。

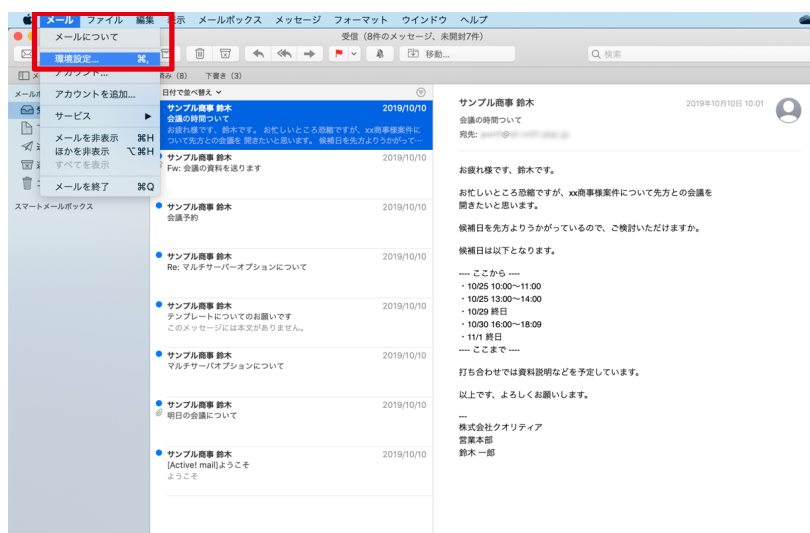


図 96. メールメニュー

2. 「アカウント」をクリックし、Active! gate SS を使用するアカウントを選択します。

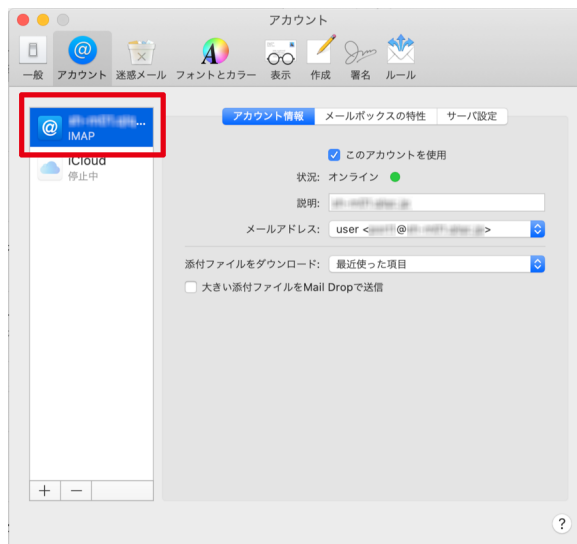


図 97. アカウントタブ

3. 「サーバ設定」を開き、「送信用メールサーバ（SMTP）」メニューから「SMTPサーバリストを編集」を選択します。

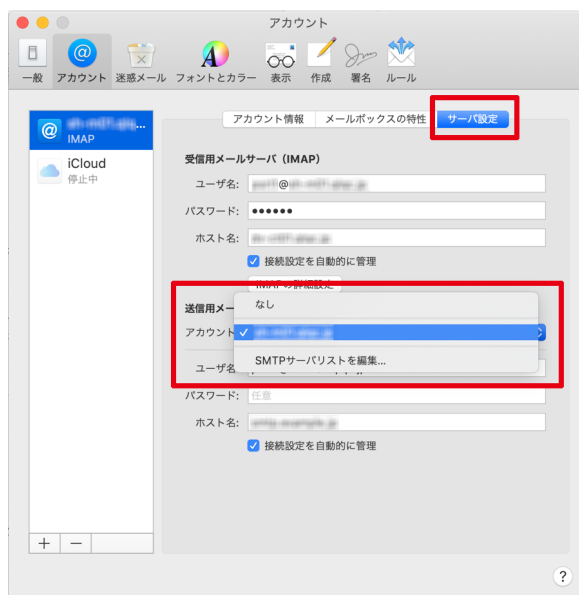


図 98. 送信用メールサーバメニュー

4. リストから使用しているSMTPサーバの名前を選択し、設定を編集します。



図 99. SMTPサーバリスト

ユーザ名

お使いのメールサービスから告知されているユーザー名（ユーザーID）を入力します。一般的にはメールアドレスが使われています。

パスワード

お使いのメールサービスから告知されている送信用パスワードを入力します。一般的には受信用と同一のパスワードが使われています。

ホスト名

お使いのメールサービスから告知されている送信メールサーバーのホスト名を入力します。

接続設定を自動的に管理

お使いのメールサービスから告知されている送信メールサーバーの暗号化設定やポート番号の情報があある場合は、チェックを外します。

ポート

お使いのメールサービスから告知された送信サーバのポート番号を入力してください。ポート番号は587が一般的に使用されています。

TLS/SSLを使用

お使いのメールサービスが暗号化通信に対応している場合は、チェックを入れます。

認証

お使いのメールサービスから告知されている認証方法をメニューから選択します。お使いのメールサービスが送信時のSMTP認証に対応していない場合は「なし」を選択してください。

5. 「OK」 ボタンをクリックして、SMTPサーバリスト設定画面を閉じます。

以上でメールソフトの設定は完了です。メールを送信して正しく設定できているか確認してください。詳細は 3.6, “連携設定解除の確認”をご参照ください。

3.6. 連携設定解除の確認

実際にメールを送信して、連携設定が正しく解除できているかを確認します。

1. Active! gate SSを利用していたメールアドレスから、確認できる外部メールアドレス宛にメールを1通送信してみてください。
2. [1]で送信したメールを受信できたら、メールヘッダーを確認します。Receivedヘッダーにactivegate-ss.jpドメインが含まれていなければ、連携設定が正しく解除されています。

ご注意

本書の一部または全体を予告なく修正することがあります。また、本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねます。

商標表示

Active! gate SSは、著作権法で保護された著作物で、その一部あるいは全部について、株式会社クオリティアから文書による許諾を得ずに複製したり複製物を配布したり、あるいは他のコンピュータ用に変換したり、他の言語に翻訳すると、著作権の侵害となります。Active! gate SSは株式会社クオリティアの登録商標です。Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Internet Explorer のロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。その他記載されていない会社、製品名は、各社の商標または登録商標です。

著作権表示

源真ゴシックは自家製フォント工房で制作されSIL Open Font License 1.1で配布されています。Font AwesomeはDave Gandy氏により制作されSIL Open Font License 1.1で配布されています。

Active! gateSS 連携設定解除マニュアル

発行所 株式会社クオリティア

発行日 2021/08/31

バージョン 1.1 版

© 2010 QUALITIA CO., LTD.
